

平成 31 年度（令和元年）
秋季定例会（雇用改善推進会議）

令和元年 10 月 25 日（金）

京王プラザホテル札幌

平成 31 年度(令和元年)秋季定例会(雇用改善推進会議) 次第

1. 開催日時 令和元年 10 月 25 日 (金)
午後 2 時 00 分 ～ 受付開始
午後 2 時 30 分 ― 会議開催
2. 場 所 京王プラザホテル札幌 2F 「エミネンス B」案内図別紙参照
〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 7 丁目 2-1
TEL:011-271-0111(代表)

3. 議 題

A. 第一部 定例報告 (14:30～16:00)

1. 開会の辞 副会長 篠森 義晴
1. 全鉄筋会長挨拶 会 長 岩田 正吾
1. 来賓祝辞・挨拶 衆議院議員 自由民主党 中山 泰秀 様
1. 会議
- (1) 各事業委員会報告
- 経営委員長 副会長 篠森 義晴
- 広報委員長 副会長 知念 辰昇
- 実習生事業委員長 副会長 武田 美治
- 教育訓練委員長 専務理事 飯島 勉
- 技術委員長 常任理事 新妻 尚祐
- CCUS 企業評価事業委員長
- 労務委員長 常任理事 飛田 良樹
- (2) 就労人口調査、社会保険加入状況の纏め報告
- 社保・就労調査 WG 佐々木 善弘
- (3) 女性活躍推進 WG 活動報告 常任理事 宮本 ゆり子
- (4) 各地区における受注単価・労務状況等報告 事務局

・・・・・・休憩 (16:00～16:10)

B. 第二部 講演 (16:10～16:50)

「新たな在留資格“特定技能”と、建設分野の外国人材の受入れについて」

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課

労働資材対策室 企画専門官 藤本 真也 様

1. AIG 損保 状況報告

1. 閉会の辞 副会長 知念 辰昇

目 次

(1) 各事業委員会報告

- 経営委員会 副会長 篠森 義晴 -P1-
- 広報委員会 副会長 知念 辰昇 -P2-
- 実習生事業委員会 副会長 武田 美治 -P5-
- 教育訓練委員会 専務理事 飯島 勉 -P11-
- 技術委員会 常任理事 新妻 尚祐 -P14-
- CCUS 企業評価事業委員会
- 労務委員会 常任理事 飛田 良樹 -P20-

(2) 就労人口調査、社会保険加入状況の纏め報告 -P24-

(3) 女性活躍推進 WG 活動報告 -P44-

(4) 各地区における受注単価・労務状況等報告
⇒ 会員専用ページ参照

➤ 講演 -別添-
「新たな在留資格“特定技能”、ならびに国土交通省施策について」

➤ AIG 損保 「業務災害総合保険」説明 -別添-

各事業委員会報告

経営委員会

篠森 義晴

広報委員会

知念 辰昇

経営委員会	技術委員会	教育訓練委員会	広報委員会	外国人 受入事業 委員会	労務委員会	CCUS 企業評価 事業委員会
委員長 篠森 義晴 (副会長)	委員長 新妻 尚祐 (常任理事)	委員長 飯島 勉 (専務理事)	委員長 知念 辰昇 (副会長)	委員長 武田 美治 (副会長)	委員長 飛田 良樹 (常任理事)	委員長 新妻 尚祐 (常任理事)
副委員長 小寺 洋志裕 (常務理事)	副委員長 井手口 勉 (理事)	副委員長 矢島 孝夫	副委員長 宮本 ゆり子 (常任理事)	副委員長 小寺 洋志裕 (常務理事)	副委員長 國井 均 (理事)	副委員長 樋脇 毅 (理事)

青年部			
担当理事 熊谷 誠一 (常任理事)	代表幹事 小寺 広宜	幹事 辻本 浩二	幹事 松本 勝

季刊誌POWER



全鉄筋ホームページ「会員専用ページ」

全鉄筋

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム
全鉄筋組合員専用システム
全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

全鉄筋組合員専用システム

今年度4月スタート
(全会員企業閲覧可)

全鉄筋ホームページ「特定技能および登録支援機関」



10月3日掲載開始

特定技能および登録支援機関

特定技能制度概要および当協会（登録支援機関）の利用

建設業は深刻な人手不足のため、会社は積極的な人材採用で対応を回っています。
 現在、2019年4月1日より、日本で新たな在留資格「特定技能」制度が開始されました。在留資格「特定技能」は、一定の条件・技能を有する優秀な外国人材に与えられます。

当協会傘下で鉄筋工事業務を営む各社は、特定技能制度で優秀な外国人材を迎えようとする意向を表明しています。
 鉄筋工事業は、日本の安心で安全な建設を支える重要な産業です。当協会は、この制度を活用する企業＝特定技能所屬機関を支援するために、出入国在留管理庁に登録した「**登録支援機関**」です。

登録番号：19登-001109

国土交通省（MLIT）
 建設分野における新たな外国人材の受け入れ
 （在留資格「特定技能」）法第3条（MOJ）
 新たな外国人材の受け入れ及び在留社会実現に向けた取組（在留資格「特定技能」の創設等）一般社団法人建設技能人材機構
 （JAC）
 登録支援機関
 (Registered Support Organization)
 MLIT輸出審査 入国検査官

当協会でご受入れた技能実習生等からの
スケジュール例（試験なしの移行）

10月3日掲載開始

全鉄筋ホームページ「よろず相談窓口」

よく使う機能

お問い合わせフォームを選択してください

鉄筋工事に関するお問い合わせ

お希望する部署へ自動的にメールが送られます

所属について

☐ 非会員 ☒ 会員

所属団体を選択ください

北海道鉄筋協会高松会

所属会社名

ABC鉄筋工業(株)

お名前

姓 氏 名

今年度10月1日スタート

今年度10月1日スタート

情報取集・情報発信

- 全鉄筋「会員専用ページ」を是非ご閲覧ください
- 内容の充実を図るために、
皆さまよりご提案をください

実習生事業委員会

武田 美治

全鉄筋 第93次実習生受入予定

募集期間	令和元年12月頃
ベトナムでの面接等日程	令和2年3月6日(金)～3月9日(月)予定
入国日	令和2年8月29日(土)
企業配属日	令和2年9月30日(水)
企業入社日	令和2年10月1日(木)

全鉄筋 実習生・建設就労者受入状況

	現在の受入人数	累計受入人数	現在の受入企業数
実習生(1号・2号)	239人	898人	51社
実習生(3号)	12人	12人	5社
建設就労者	71人	130人	23社

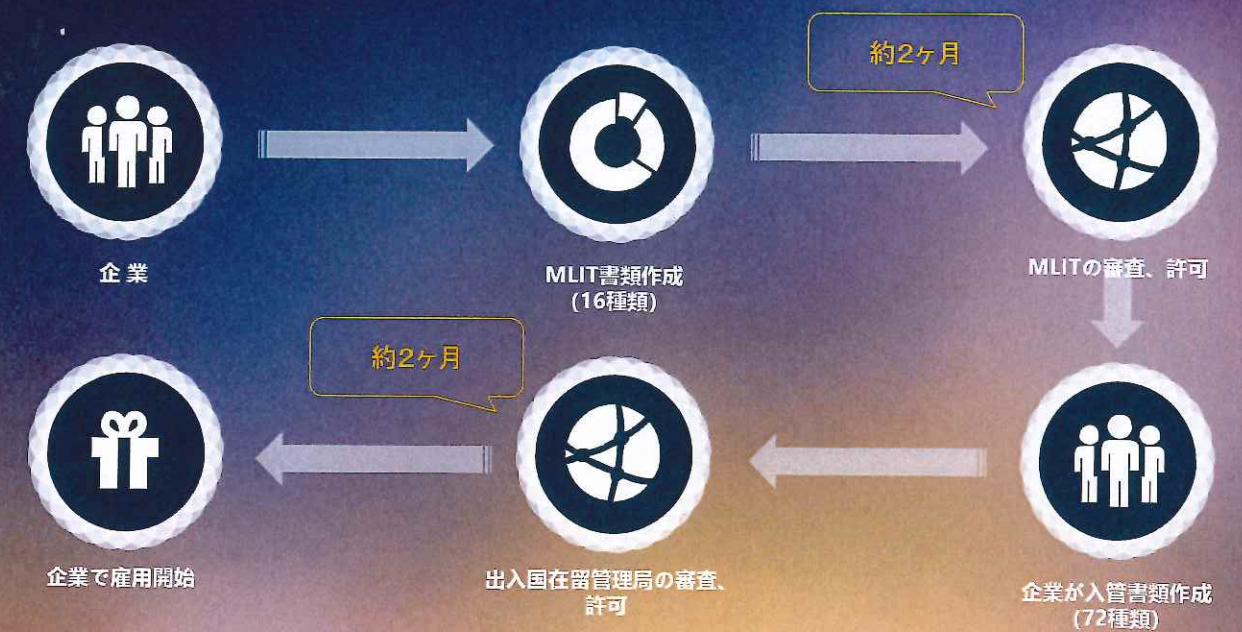
※2019年10月17日現在

特定技能申請および 登録支援機関活動報告

要点

- 1 制度概要
- 2 申請方法
- 3 申請状況
- 4 費用

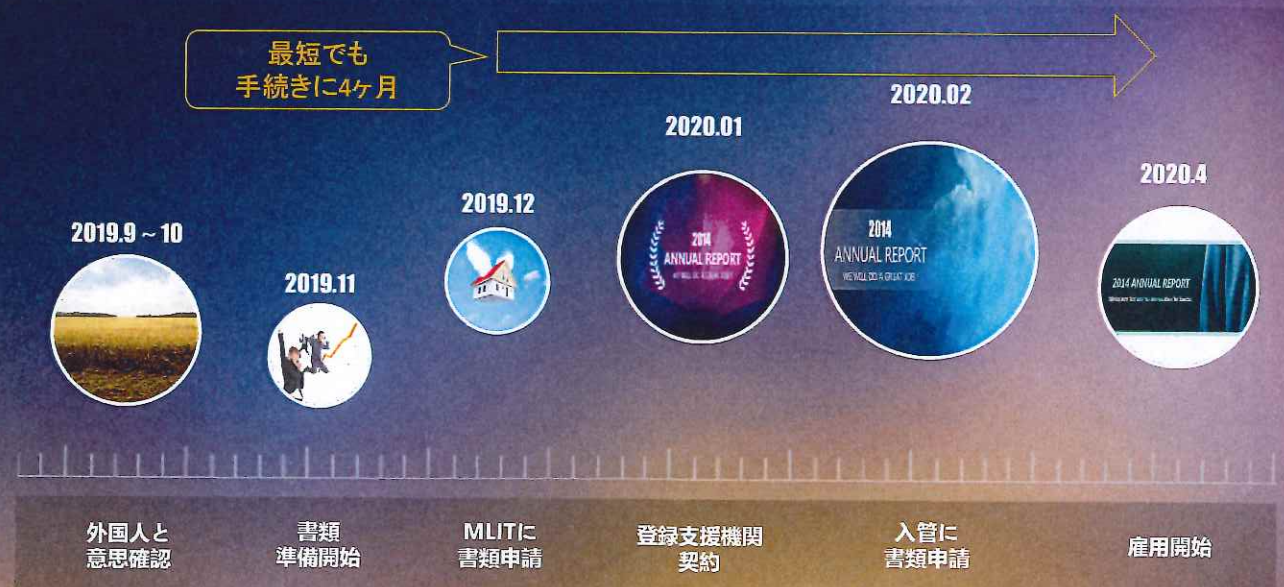
2. 申請方法



1. 制度概要

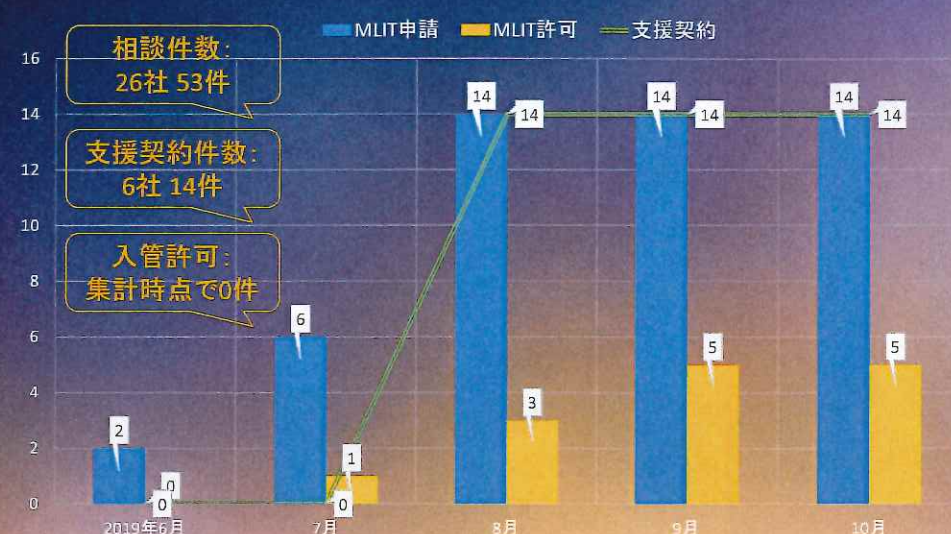


2. 申請方法:スケジュール例



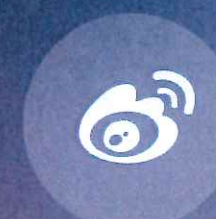
3. 申請状況

登録支援機関契約 および
特定技能申請状況（累計：10/16時点）



4. 費用：付帯サービス

登録支援機関を当協会が契約する場合：無料



外国人総合保険
手続き代行
※費用は実費をご請求します



国土交通省への
提出書類作成サポート



出入国在留管理局への
提出書類作成サポート

4. 費用



全部委託
¥20,000(税別)(月額/1名)

- ・雇用契約、フォロー等の内容の事前ガイダンス(法令により3時間以上)
- ・出入国時に空港などへの送迎(出国時入場の確認まで)
- ・住宅確保の支援(保証人の確保等)
- ・生活に必要な契約の支援(金融機関の口座開設、携帯電話の契約等)
- ・生活オリエンテーションの実施(生活一般、行政手続き、相談・苦情の連絡先等、法令により8時間以上)
- ・日本語を学習する機会の提供(日本語教室、自主学習教材の案内等)
- ・相談・苦情に対する対応(外国人本人の言語で24時間365日対応)
- ・日本人との交流促進支援(行事等の地域交流、自治会等の案内や参加手続きの補助)
- ・非自発的離職時の転職支援(次の受入機関の情報提供、ハローワークへの案内等)
- ・特定技能1号本人、その監督者と定期的な面談(3ヶ月に1度以上)



初年度交通費
¥6,000(税別)(月額/1名)

- ・初年度のみ追加で請求します。
- ・¥18,000(3ヶ月毎)を均し、¥6,000(税別)(月額/1名)として12ヶ月間請求します。
- ・ただし、当該企業を当協会が監理・支援委託して2年目以降なら無料とします。



ありがとうございました

飯島 勉



鉄筋基礎 (1)

※講 題 鉄筋工事の概要、工員職の扱い、鉄筋工事の施工法
及び安全作業法について基礎的な技能を修得させる。
※対 象 初心者（実務経験0～3年）が対象
※人 員 30名/回 ※開催日数 14日間
※開催時間数 102時間 ※参加者訓練時間数 96時間30分



第1回
2019年 5月 7日(火)
～ 5月23日(木)

教育訓練負担金	75,000円+税
宿泊代	59,200円+税
(会員の運合 3,700円+税×16泊)	
合 計	134,200円+税

	種 目	内 容	所要
1	鉄筋施工法	●鉄筋の組立て・解体 ●鉄筋の継手方法 ●各種施工上の注意点 ●鉄筋の加工、曲げ、取り付け	20時間
2	建築設備	●建築一般設備 ●生排・鉄骨コンクリート	4時間
3	安全衛生	●東国行動 ●安全作業法 ●社会人マナー ●教育訓練全体の位置、まとめ等	14時間 8
4	安全衛生作業法	●玉掛け技能講習 ○クレーン・移動式特別教育 ○高所作業車運転特別教育 ○足場の組立て等特別教育 ○作業吊钩 ●：技能講習 ○：特別教育	64時間
	合 計		102時間

鉄筋施工系基礎研修

※講 要 鉄筋基礎(1)を修了した者を対象に、より専門的な鉄筋工事の技術についてを習得する。

※対 象 初心者(実務経験0～3年)が対象

※人 員 30名/回 ※訓練日数 8日間

※訓練時間数 54時間 ※参考訓練時間数 50時間30分



第1回
2019年 9月24日(火)
~10月 3日(木)

教育訓練負担金	70,000円・税
宿泊代	33,300円・税
(会員の場合 3,700円・税×9泊)	
合 計	103,300円・税

	科 目	内 容	時間
カリキュラム	1 鉄筋施工法	●構造特許の見方 ●当部幹事りの検討 ●鉄筋の加工、運搬、取付け	2.4時間
	2 安全衛生	●建設業の役割 ●コンプライアンス ●会社組織と労務組織 ●企業成長と個人の成長 ●研修施設 ●教育訓練全体のまとめ	1.4時間
	3 安全衛生作業法	○自由研習時 石取部特別教育 ○酸素欠乏危険作業特別教育 (第二種酸素欠乏危険作業) ○当班環境 ●● 技能講習 ○：特別教育	1.6時間
	合 計		5.4時間



競技映像をYouTubeで
Live配信します！

登録鉄筋基幹技能者講習

2019年度 登錄技能士技能者講習 開催日程

2014年12月

[illegible]

2019年度 中国医药基金统计研究报告 出版日程

皇朝詩經

2019年度から、5府県も法定基幹制度地ではなく、地方ブロック制に所属することになりました。

[illegible]

牧野光子 MITSUKO MAKINO



Profile

元NHK静岡ニュースキャスター
SBSテレビリポーター
司会者や話し方講師として活動。
「あがり症を克服する！イキイキ魅力的な話し方講座」
「売り上げアップにつなげる会話術」
社員研修・ビジネスマナー講座等。
「温泉マイスター」として静岡県内中心に
300ヶ所の温泉を取材し温泉の本も執筆。
「温泉で健康に！温泉雑学講座」などの講演も担当。



技術委員会

新妻 尚祐

全鉄筋発刊書籍

鉄筋技能士教育テキスト（平成28年度版）



定価 3,500円 (3,850円 税別)
会員価格 3,000円 (3,300円 税別)
鉄筋技能士を目指す方の強い味方。受検生はこれ一冊でOK。最近2年間で実地の問題と回答・解説を掲載各4Kの講習会で使用実用版。
B5判上製本 331頁

鉄筋工事配筋要領書（2019年度版）



定価 4,000円 (4,400円 税別)
会員価格 3,500円 (3,850円 税別)
建築設計と配筋施工との間隙に起る問題の解決の手引きとして活用できる。また、工法改善事例を多く取り入れているので省力化工法の提案時の参考としても応用できる。B5判上製本 263頁

鉄筋工事加工手順書（2012年版）



定価 1,500円 (1,650円 税別)
会員価格 1,500円 (1,650円 税別)
加工作業の正確な切斷、曲げ作業の手順は本書があれば理解できる。B5判上製本

全鉄筋 教育プログラム 鉄筋技能士実技課題 DVD
～組立作業手順～



定価 2,500円 (税別)
会員価格 2,000円 (税別)
詳細はお気軽にお問合せください。

全鉄筋発刊書籍



鉄筋工事打合せハンドブック

(2017年改訂版)

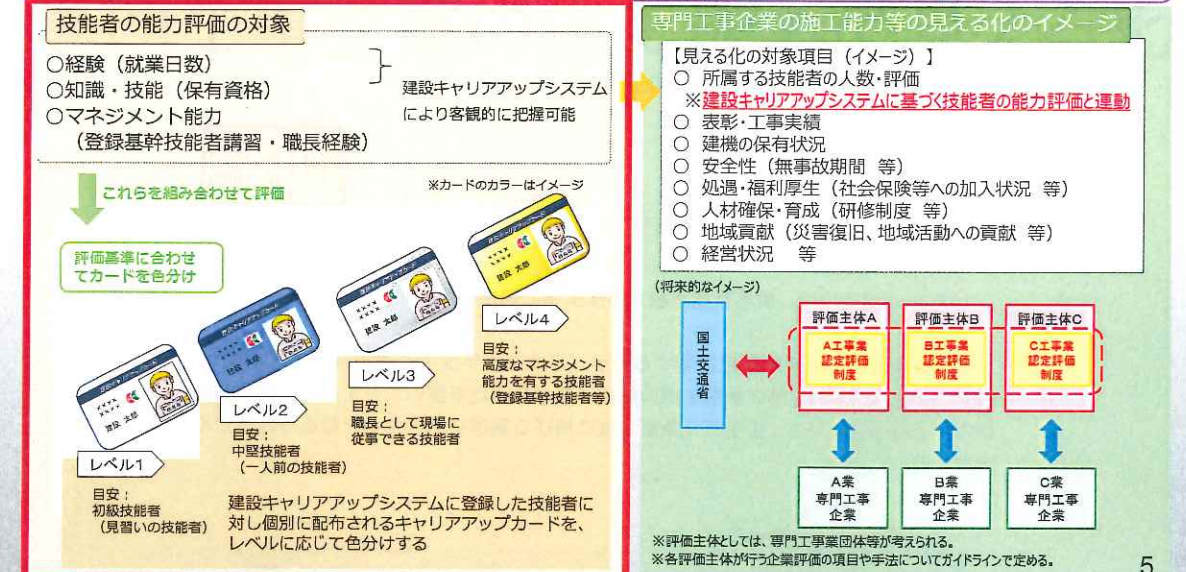
定価500円(会員価格350円)

鉄筋工事の責任施工で品質、コスト、工期、安全がポイント。竣工時、竣工後の計画毎の打合せに、縦長1規格1冊は携行帳型で作業表のポケットに収まるコンパクトサイズ。全職企業限定で各入れも異業負担で承ります。

CCUS企業評価事業委員会 (技能者の能力評価)

UP 建設キャリアアップシステムを活用した技能者の処遇改善に向けた取組

- ・建設キャリアアップシステムの導入で確認が可能となる、技能者の保有資格及び就業履歴のデータを活用し、個々の技能者の知識や技能と組み合わせた「能力評価基準」を策定する。
- ・この能力評価基準に基づいて技能者を評価する枠組みを構築し、レベルに応じてキャリアアップカードを色分けすることで、技能者の技能や経験に応じた処遇の実現に向けた環境整備を行う。
- ・更に、この技能者の能力評価基準と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化を進め、良い職人を育て、雇用する専門工事企業が選ばれる環境を整備する。



鉄筋技能者能力評価基準 【レベル1～4の基準の一覧】

	就業日数	保有資格	職長・班長としての就業日数
レベル4	就業日数が2,150日（10年）以上であること。	●登録鉄筋基幹技能者 ●優秀施工者国土交通大臣顕彰 ●安全優良職長厚生労働大臣顕彰 ●卓越した技能者（現代の名工） ・レベル2、レベル3の基準に示す保有資格	職長としての就業日数が645日（3年）以上であること。
レベル3	就業日数が1,505日（7年）以上であること。	・一級鉄筋施工技能士（組立て、または施工図） ・レベル2の基準に示す保有資格	職長又は班長としての就業日数の合計が645日（3年）以上であること。
レベル2	就業日数が645日（3年）以上であること。	・玉掛技能講習	
レベル1	建設キャリアアップシステムに登録され、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者。		

※ ●印の保有資格については、いずれかの保有で可とする。

国土交通省 大臣認定書

国土建第782号
令和元年10月8日

公益社団法人全国鉄筋工事業協会
会長 岩田 正吾 殿

国土交通大臣 赤羽 一嘉

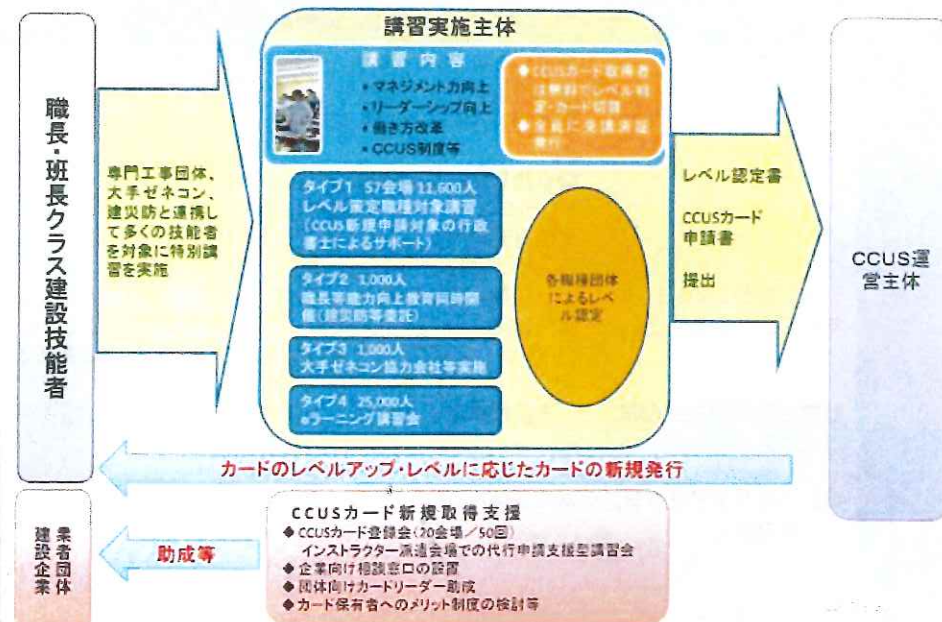


鉄筋技能者能力評価基準の認定について

建設技能者の能力評価制度に関する告示（平成31年国土交通省告示第460号。以下「告示」という。）第3条第1項の規定に基づき認定申請のありました鉄筋技能者能力評価基準について、告示第3条第2項に掲げる基準に適合すると認められるため、認定する。

特別講習

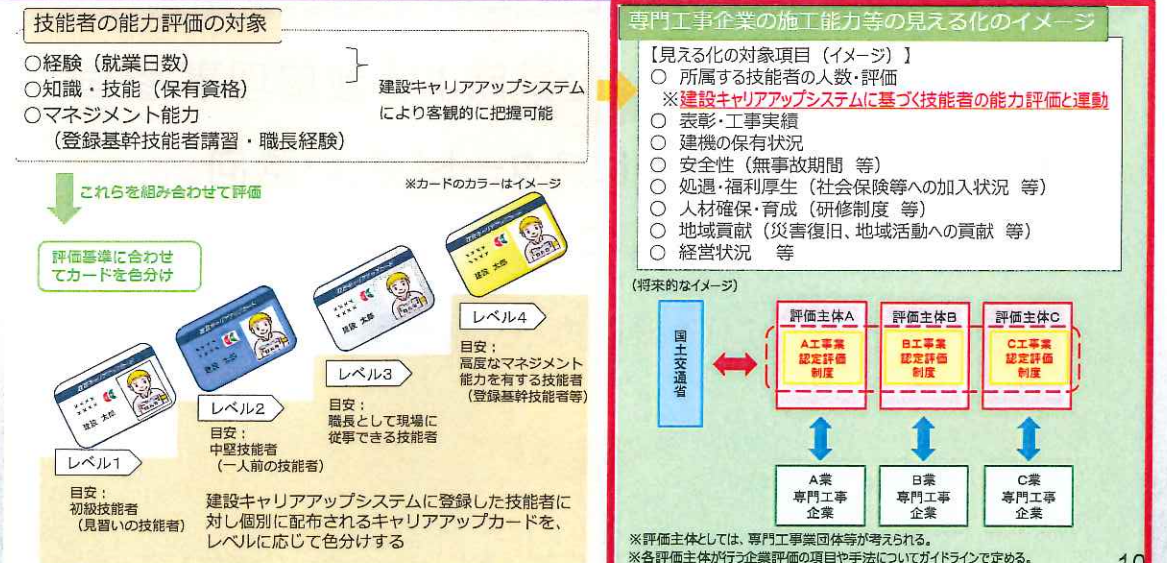
建設技能者マネジメントスキル向上特別講習イメージ



CCUS企業評価事業委員会 (専門工事企業の施工能力の見える化)

建設キャリアアップシステムを活用した技能者の処遇改善に向けた取組

- 建設キャリアアップシステムの導入で確認が可能となる、技能者の保有資格及び就業履歴のデータを活用し、個々の技能者の知識や技能と組み合わせた「能力評価基準」を策定する。
- この能力評価基準に基づいて技能者を評価する枠組みを構築し、レベルに応じてキャリアアップカードを色分けすることで、技能者の技能や経験に応じた処遇の実現に向けた環境整備を行う。
- 更に、この技能者の能力評価基準と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化を進め、良い職人を育て、雇用する専門工事企業が選ばれる環境を整備する。



見える化する項目・内容の考え方 (図1)

- キャリアアップシステムと連動させた技能労働者の能力評価等をはじめ、客観的かつ簡便に把握できるものとする。
- 施工能力の確認・PRに加え、法令遵守等のネガティブチェック（不良不適格業者の排除）にも活用できるものとする。
- 見える化する項目については、必要最小限にすべきという意見が大勢であり、業界共通の必須の情報を「共通項目」と整理し、それ以外を、各業種ごとの「選択項目」と整理する。なお、「選択項目」については、将来的に政策推進の観点での活用も考えられる。

誰がどのように見える化するのか（スキーム） (図2)

- 専門工事業の職種毎の特性を反映するため、専門工事業団体において、具体的な見える化する項目や内容の検討を行う。
- 一方で、評価制度の客観性や職種間のバランスを確保しつつ、建設業全体の制度として構築することから、一定の共通の目安やチェックが必要であり、国が示すガイドライン等への適合性を国が認定。
- 客観性、公平性を確保するために、団体に「第三者委員会」を設置し、実際の評価付けを行う。

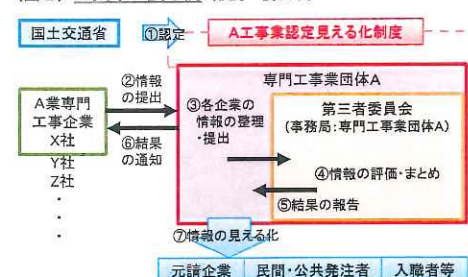
※その他、評価イメージ、情報管理の方法、申請等の手続き、手数料等の取扱い 等についても引き続き検討。

(図1) ■見える化する項目・内容 (検討・調整中)

項目区分	項目
基礎情報	・建設業の許可の有無 ・建設業の営業年数 ・財務状況等 ・社員数 ・団体加入 ・取引先、取引銀行
施工能力	・技能者の人数（技能者のキャリアアップカードの保有人数、レベル） ・施工実績
法令遵守・安全衛生	・建設業法の法令遵守、労働関係法令違反の状況 ・社会保険加入状況
処遇・福利厚生	・給与制度 ・労務管理 等
人材確保育成	・若年者の確保育成状況 ・女性の確保育成状況 等
地域貢献その他	・防災活動への貢献状況 ・生産性向上・技術開発 ・災害時対応 ・民事再生法等の適用有無 等

注：赤枠は「共通項目」として提示したもの

(図2) ■スキームの例 (検討・調整中)



本年夏頃に枠組みを提示した後、各団体において、業種の特性を踏まえ、見える化制度の詳細を検討

労務委員会(案)

(公社)全国鉄筋工事業協会

専門工事企業の施工能力の見える化

■ 専門工事企業の施工能力の見える化WG

全鉄筋より 池田理事 参画

■ 国交省：次年度中にスタートしたい意向

1. 目的

目的

鉄筋工の労働環境の改善と待遇の改善をめざして若年者に、魅力のある業界にする。

鉄筋業者すべての結束！

全鉄筋傘下の会員会社の2次以降の協力会社の全鉄筋への加盟が必要

法令順守の上での組織的活動が不可欠

2. 具体策

1

企業活動、組合活動での違法性の説明と取り組み

- ・応援活動の違法性の説明と合法化するための仕組みづくり。
- ・会員加盟に関する必要性の説明と広報活動。
- ・各ブロックごと組織編成をし、管理会社を選定。
- ・会員会社への周知、広報活動。

3

4. 方策

2

具体的な方策

- ・(1) 説明会と周知活動
- ・(2) ブロック編成とブロック長、管理会社の選定
- ・(3) 会費の決定(イニシャルコスト、ランニングコストの算出)

5

3. 現状の課題

2次以降会社の全鉄筋加入

- ・課題(1) 会員企業全ての賛同を得て、2次以降が、全て加入が現実できるか
(現状での日々の仕事に不便を感じていない恐れ)
- ・課題(2) 各地方での事務対応が可能か。
- ・課題(3) 社会保険加入、建設業許可取得が絶対条件。

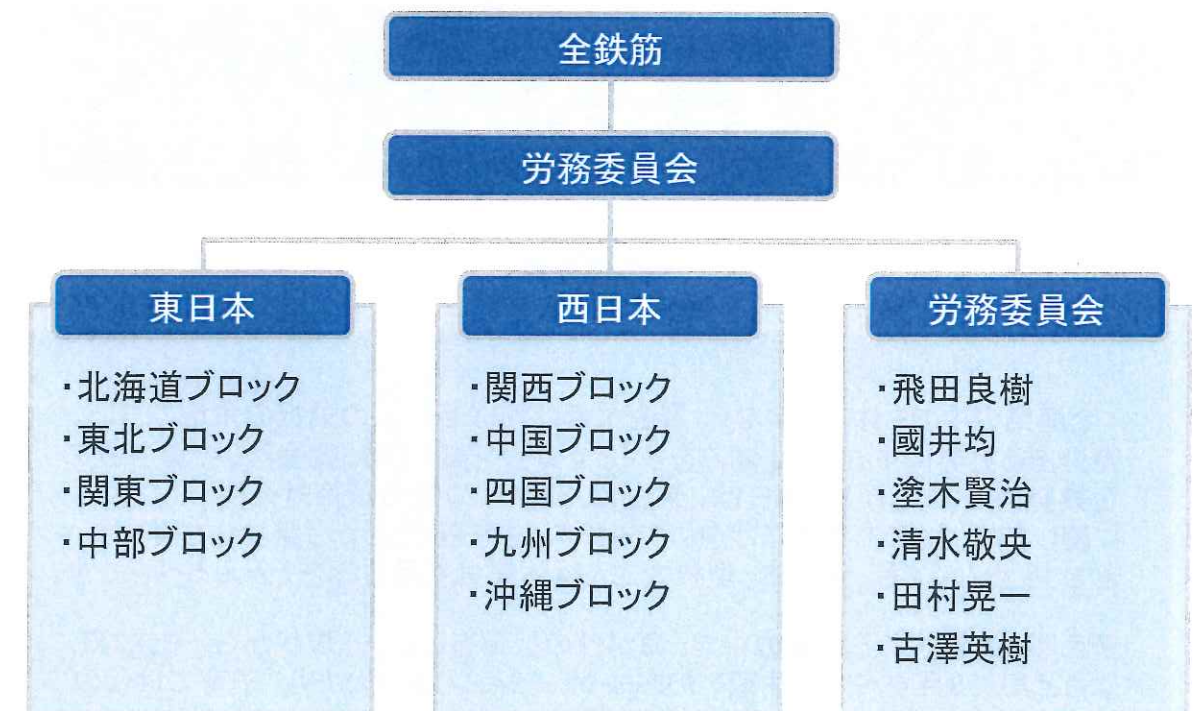
加入することのメリット

- ・外国人実習生の受け入れが容易になる、
- ・鉄筋業者すべてが加入することでの技術力、経営力の強化を図る。
- ・安値受注の抑止力となりうる。

建設業界全体のイメージアップを法令順守という形で先導する。

4

5. 体制



6

6. スケジュール

具体策	アクションプラン	10月	11月	12月	1月	4月	5月
2次下請 け全鉄筋 加入	周知活動						
	周知確認						
	2次以降の加入						
マッチン グシステ ム	システム開発開始						
	システム運用方法講習						
	システム構築修了確認						
	システム運用開始						
	労務委員会						



2019年度
社会保険加入状況調査

経営委員会 社保・就労調査WG

7. まとめ

目 標

鉄筋業者すべてが全鉄筋の業者となり、法令順守を目指す。

・全産業の中でも休みも少なく、賃金が低ければ若い人の選択の余地はない。魅力ある業界にするには、休みを多くして賃金を高くする。賃金は、会員各社の企業努力です。しかし、休日は、発注者、元請けの協力が絶対条件。この休みに関しては、鉄筋工事業だけ進めてもダメ、建専連でしっかり議論して検討すべきです。少なくとも、薦土工、型枠大工と躯体業者で足並みをそろえるべきです。

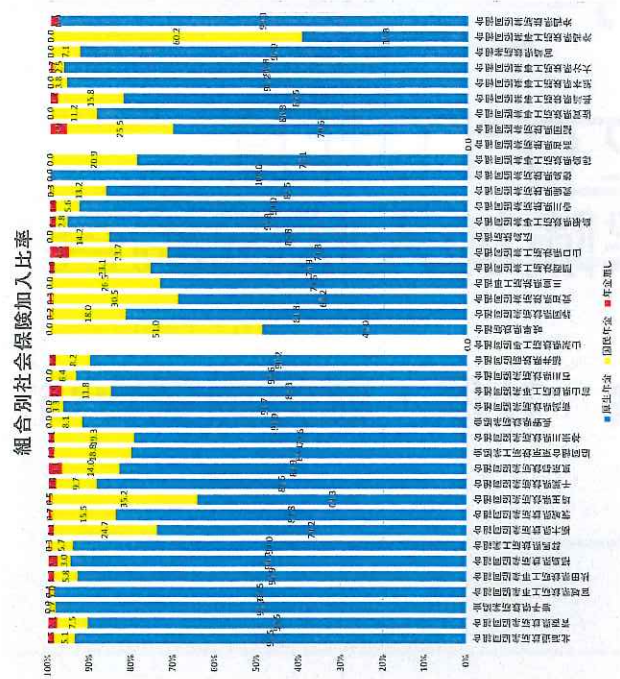
例えば、毎年訪れる猛暑の中で、命がけの仕事をしている現状から、週休2日はもとより、8月すべての休暇(サマーバケーション)を取れたら、子育て世代の若者に魅力を感じてもらえるかもしれません。

2019年度社会保険加入状況調査 結果

対象事業会社	41組合	1004社
回答会社数		794社
回答率		79%
回答合計人数		31436人
厚生年金加入率		82.5%
国民年金加入率		16.0%
公的年金加入率(厚生年金+国民年金)		98.5%
厚生年金加入率(最高)	宮城	98.5%
厚生年金加入率(最低)	岐阜	49.0%

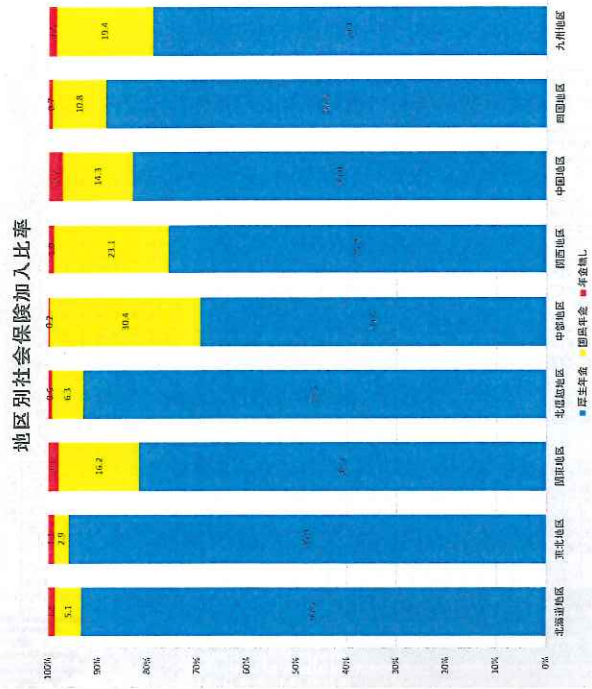
令和 1年度
全国鉄筋工事業協会社会保険加入状況調査
団体会員集計

全鉄筋全体集計結果	厚生年金加入率(割合%)		国民年金加入率(割合%)		年々無し人数(割合%)		組合会員人数合計	
	25,921人	%	5,026人	%	489人	%	31,436人	%
組合合計人数	25,921人	82.5%	5,026人	16.0%	489人	1.6%	31,436人	
団体名	厚生年金加入率(割合%)	国民年金加入率(割合%)	年々無し人数(割合%)				組合会員人数合計	
北海道鉄筋業協同組合	1,546人	93.5%	84人	5.1%	24人	1.5%	1,654人	
青森県鉄筋業協同組合	218人	90.5%	18人	7.5%	5人	2.1%	241人	
岩手県鉄筋業協会	351人	96.3%	6人	1.7%	0人	0.0%	357人	
宮城県鉄筋工事業協同組合	672人	96.5%	7人	1.0%	3人	0.4%	682人	
秋田県鉄筋工事業協同組合	209人	92.9%	13人	5.8%	3人	1.3%	225人	
福島県鉄筋業協同組合	504人	94.7%	10人	3.0%	12人	2.3%	532人	
群馬県鉄筋工事業組合	363人	94.0%	22人	5.7%	1人	0.3%	386人	
栃木県鉄筋業協同組合	135人	74.2%	45人	24.7%	2人	1.1%	182人	
茨城県鉄筋業協同組合	405人	84.3%	91人	15.5%	4人	0.7%	587人	
埼玉県鉄筋業協同組合	702人	88.5%	222人	35.2%	3人	0.5%	930人	
千葉県鉄筋業協同組合	6,368人	82.9%	1,072人	18.8%	34人	3.1%	7,677人	
東京都鉄筋工事業協会	2,392人	80.1%	554人	14.0%	39人	1.2%	2,950人	
神奈川県鉄筋業協同組合	1,351人	78.0%	327人	19.3%	19人	1.1%	1,697人	
長野県鉄筋業協会	114人	81.9%	10人	8.1%	0人	0.0%	124人	
新潟県鉄筋業協同組合	833人	86.7%	28人	3.3%	0人	0.0%	861人	
富山県鉄筋工事業協同組合	295人	85.3%	41人	11.8%	10人	2.9%	346人	
石川県鉄筋業協同組合	648人	93.6%	44人	6.4%	0人	0.0%	692人	
福井県鉄筋業協同組合	231人	90.2%	21人	8.2%	4人	1.6%	259人	
山梨県鉄筋工事業協同組合	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	
岐阜県鉄筋業組合	249人	49.0%	259人	51.0%	0人	0.0%	508人	
静岡県鉄筋業協同組合	686人	81.8%	151人	18.0%	2人	0.2%	839人	
愛知県鉄筋業協同組合	606人	69.2%	287人	30.5%	3人	0.3%	876人	
三重県鉄筋工事組合	25人	73.5%	9人	26.5%	0人	0.0%	34人	
四国鉄筋工事業協同組合	2,721人	75.9%	828人	23.1%	36人	1.0%	3,695人	
山口県鉄筋工事業協同組合	254人	71.8%	84人	23.7%	16人	4.5%	354人	
広島県鉄筋業組合	97人	85.8%	16人	14.2%	0人	0.0%	113人	
高知県鉄筋工事業協同組合	275人	95.8%	8人	2.8%	4人	1.4%	287人	
香川県鉄筋業協同組合	251人	93.0%	19人	5.6%	4人	1.5%	270人	
愛媛県鉄筋業協同組合	276人	86.5%	42人	13.2%	1人	0.3%	319人	
徳島県鉄筋業協同組合	43人	100.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	43人	
徳島県鉄筋工事業協同組合	87人	78.1%	23人	20.9%	0人	0.0%	110人	
高知県鉄筋業協同組合	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	
福岡県鉄筋業協同組合	646人	70.6%	233人	25.5%	36人	3.9%	915人	
佐賀県鉄筋業協同組合	199人	88.8%	25人	11.2%	0人	0.0%	224人	
長崎県鉄筋工事業協同組合	297人	82.5%	55人	15.8%	0人	1.7%	348人	
熊本県鉄筋工事業協同組合	503人	96.2%	20人	3.8%	0人	0.0%	523人	
大分県鉄筋工事業協同組合	275人	95.8%	7人	2.5%	2人	0.7%	284人	
宮崎県鉄筋業組合	235人	92.9%	18人	7.1%	0人	0.0%	253人	
沖縄県鉄筋工事業協同組合	177人	39.8%	268人	60.2%	0人	0.0%	445人	
沖縄県鉄筋業協同組合	230人	98.3%	0人	0.0%	4人	1.7%	234人	



令和 1年度
全国鉄筋工事業協会社会保険加入状況調査
団体会員集計

全鉄筋全体集計結果	厚生年金加入率(割合%)		国民年金加入率(割合%)		年々無し人数(割合%)		地区別人数合計	
	25,921人	%	5,026人	%	489人	%	31,436人	%
組合合計人数	25,921人	82.5%	5,026人	16.0%	489人	1.6%	31,436人	
団体名	厚生年金加入率(割合%)	国民年金加入率(割合%)	年々無し人数(割合%)				地区別人数合計	
北海道地区	1,546人	93.5%	84人	5.1%	24人	1.5%	1,654人	
東北地区	1,954人	95.9%	60人	2.8%	23人	1.1%	2,037人	
関東地区	12,178人	81.7%	2,410人	16.2%	314人	2.1%	14,902人	
北陸・中部地区	2,121人	93.1%	144人	6.3%	14人	0.6%	2,279人	
中部地区	1,566人	89.4%	686人	30.4%	5人	0.2%	2,257人	
関西地区	2,721人	75.9%	828人	23.1%	36人	1.0%	3,585人	
中国地区	626人	83.0%	108人	14.3%	20人	2.7%	754人	
四国地区	657人	88.5%	80人	10.8%	5人	0.7%	742人	
九州地区	2,552人	79.1%	626人	19.4%	48人	1.5%	3,226人	



2019年度 社会保険加入状況調査

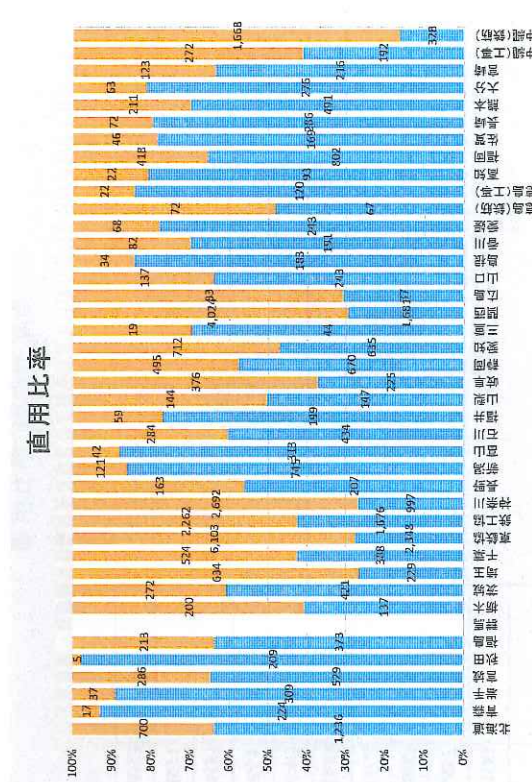
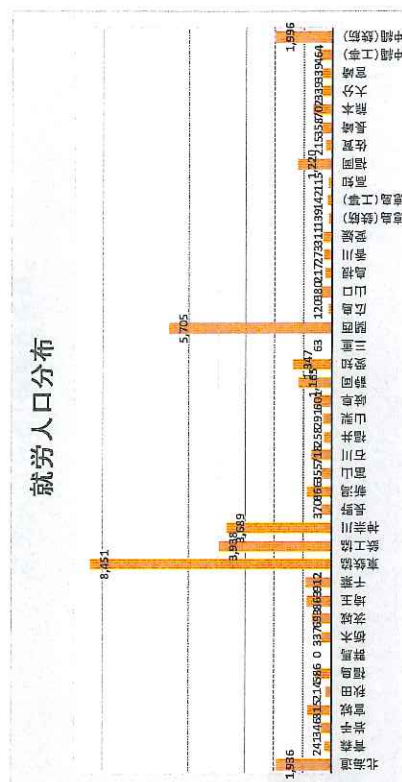
経営委員会 社保・就労調査WG

2019年度社会保険加入状況調査 結果

対象事業会社	41組合	1004社
回答会社数		794社
回答率		79%
回答合計人数		31436人
厚生年金加入率		82.5%
国民年金加入率		16.0%
公的年金加入率（厚生年金＋国民年金）		98.5%
厚生年金加入率（最高）	宮城	98.5%
厚生年金加入率（最低）	岐阜	49.0%

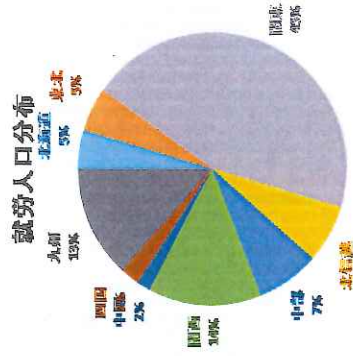
2019年度 就労人口調査（全体）

事業所数	回答数	回答率	就労者数合計	就労者数（1次）	就労者数（2次以降）	活用比率	1社当り平均人数（1次＋2次以降）	1社当り平均人数（1次）	活用比率	推定就労者数
1 北海道	62	57	92%	1,236	1,236	700	64%	34	22	2,106
2 青森	19	18	95%	241	224	17	93%	13	12	254
3 岩手	21	21	100%	346	309	37	89%	16	15	346
4 宮城	18	18	100%	815	529	286	65%	45	29	815
5 秋田	19	19	100%	214	209	5	98%	11	11	214
6 福島	31	28	90%	586	373	213	64%	21	13	649
7 群馬	24	24	100%	0	0	0	0%	0	0	0
8 栃木	19	12	63%	337	137	200	41%	28	11	534
9 茨城	32	29	91%	693	421	272	61%	24	15	765
10 埼玉	17	13	76%	863	229	634	27%	66	18	1,129
11 千葉	13	11	85%	912	388	524	43%	83	35	1,078
12 東京都	49	49	100%	8,451	2,348	6,103	28%	172	48	8,451
13 神奈川	61	46	75%	3,938	1,676	2,262	43%	86	36	5,222
14 新潟	34	33	97%	3,689	997	2,692	27%	112	30	3,801
15 長野	20	14	70%	370	207	163	56%	26	15	529
16 山梨	40	40	100%	866	745	121	86%	22	19	866
17 富山	39	39	100%	355	313	42	88%	9	8	355
18 石川	27	27	100%	718	434	284	60%	27	16	718
19 福井	19	19	100%	258	199	59	77%	14	10	258
20 山梨	12	12	100%	291	147	144	51%	24	12	291
21 岐阜	17	17	100%	601	225	376	37%	35	13	601
22 静岡	40	40	100%	1,165	670	495	58%	29	17	1,165
23 愛知	36	28	78%	1,347	635	712	47%	48	23	1,732
24 三重	9	5	56%	63	44	19	70%	13	9	113
25 滋賀	78	69	88%	5,705	1,681	4,024	29%	83	24	6,449
26 京都	11	11	100%	1,200	37	83	31%	11	3	1,200
27 大阪	11	10	91%	380	243	137	64%	38	24	418
28 奈良	9	9	100%	217	183	34	84%	24	20	217
29 和歌山	12	12	100%	273	191	82	70%	23	16	273
30 徳島	20	20	100%	311	243	68	78%	16	12	311
31 香川	11	11	100%	139	67	72	48%	13	6	139
32 高松	13	13	100%	142	120	22	85%	11	9	142
33 愛媛	14	6	43%	115	93	22	81%	19	16	288
34 福岡	25	23	92%	1,220	802	418	66%	53	35	1,326
35 佐賀	9	9	100%	215	169	46	79%	24	19	215
36 熊本	18	18	100%	358	286	72	80%	20	16	358
37 大分	26	24	92%	702	491	211	70%	29	20	761
38 宮崎	14	13	93%	339	276	63	81%	26	21	365
39 鹿児島	23	23	100%	339	216	123	64%	15	9	339
40 沖縄	18	18	100%	464	192	272	41%	26	11	464
41 沖縄（鉄筋）	14	14	100%	1,996	328	1,668	16%	143	23	1,996
合計	1004	898	89%	42,080	18,313	23,777	44%	47	20	47,058



2019年度 就労人口調査 (全体)

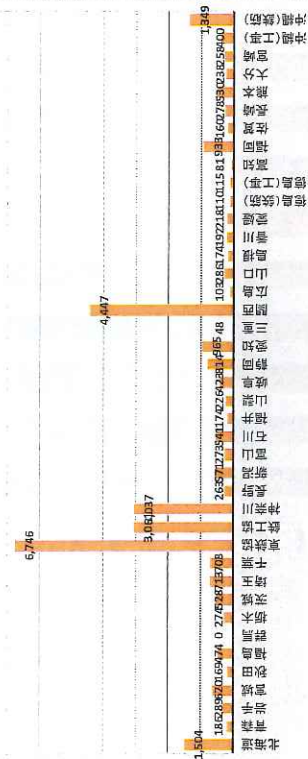
	事業所数	回答数	回答率	就労者数合計	就労者数(1次)	就労者数(2次以降)	直用比率	1社当り平均人数(1次+2次以降)	1社当り平均人数(1次)	占有比率	推定就労者数	備考
1 北海道	62	57	92%	1,936	1,236	700	64%	34	22	4.60%	2,106	
2 東北	108	104	96%	2,202	1,644	558	75%	21	16	5.23%	2,287	
3 関東	249	193	78%	18,883	6,196	12,687	33%	98	32	44.86%	24,362	
4 北信越	157	151	96%	2,858	2,045	813	72%	19	14	6.79%	2,972	
5 中部	102	90	88%	3,176	1,574	1,602	50%	35	17	7.55%	3,599	
6 関西	78	69	88%	5,705	1,681	4,024	29%	83	24	13.55%	6,449	
7 中国	31	30	97%	717	483	234	65%	24	15	1.70%	741	
8 四国	70	62	89%	980	714	266	73%	16	12	2.33%	1,106	
9 九州	147	142	97%	5,633	2,760	2,873	49%	40	19	13.38%	5,831	
合 計	1004	898	89%	42,090	18,313	23,777	44%	47	20	100.00%	49,453	



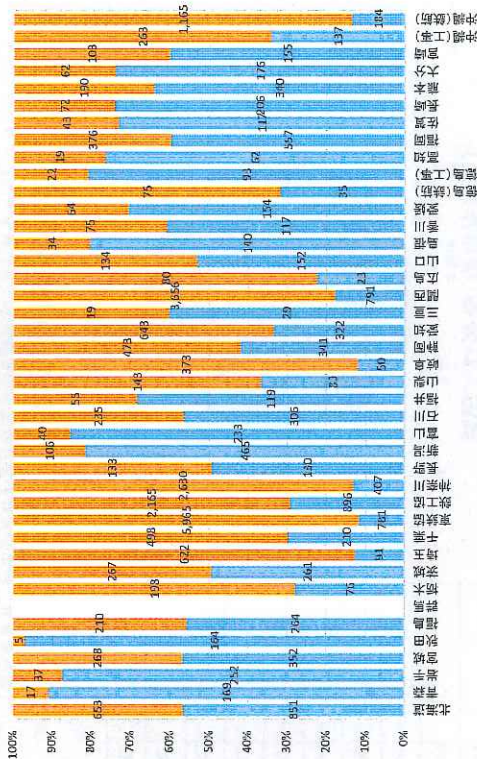
2019年度 就労人口調査 (現場作業員)

	事業所数	回答数	回答率	現場就労者数合計	現場就労者数(1次)	現場就労者数(2次以降)	直用比率	1社当り平均人数(1次+2次以降)	1社当り平均人数(1次)	占有比率	推定就労者数
1 北海道	62	57	92%	1,504	851	653	57%	26	15	4.63%	1,636
2 青森	19	18	95%	186	169	17	91%	10	9	0.57%	196
3 岩手	21	21	100%	289	252	37	87%	14	12	0.89%	289
4 宮城	18	18	100%	620	352	268	57%	34	20	1.91%	620
5 秋田	19	19	100%	169	164	5	97%	9	9	0.52%	169
6 福島	31	28	90%	474	264	210	56%	17	9	1.45%	525
7 群馬	24	24	100%	0	0	0	0%	0	0	0.00%	0
8 栃木	19	12	63%	274	76	198	28%	23	6	0.84%	434
9 茨城	32	29	91%	528	261	267	49%	18	9	1.63%	583
10 埼玉	17	13	76%	713	91	622	13%	55	7	2.20%	932
11 千葉	13	11	85%	708	210	498	30%	64	19	2.18%	837
12 茨城	49	49	100%	6,746	781	5,965	12%	138	16	20.77%	6,746
13 秋田	61	46	75%	3,061	896	2,165	29%	67	19	9.42%	4,059
14 神奈川	34	33	97%	3,037	407	2,630	13%	92	12	9.35%	3,129
15 長野	20	14	70%	283	130	153	49%	19	9	0.81%	376
16 新潟	40	40	100%	571	465	106	81%	14	12	1.76%	571
17 富山	39	39	100%	273	233	40	85%	7	6	0.84%	273
18 石川	27	27	100%	541	306	235	57%	20	11	1.67%	541
19 福井	19	19	100%	174	119	55	68%	9	6	0.54%	174
20 山梨	12	12	100%	226	83	143	37%	19	7	0.70%	226
21 岐阜	17	17	100%	423	50	373	12%	25	3	1.30%	423
22 静岡	40	40	100%	814	341	473	42%	20	9	2.51%	814
23 愛知	36	28	78%	985	322	663	33%	34	12	2.97%	1,241
24 三重	9	5	56%	48	29	19	60%	10	6	0.15%	86
25 関西	78	69	88%	4,447	791	3,656	18%	64	11	13.69%	5,027
26 大阪	11	11	100%	103	23	80	22%	9	2	0.32%	103
27 山口	11	10	91%	286	152	134	53%	29	15	0.88%	315
28 鳥取	9	9	100%	174	140	34	80%	19	16	0.54%	174
29 徳島	12	12	100%	192	117	75	61%	16	10	0.59%	192
30 香取	20	20	100%	218	154	64	71%	11	8	0.67%	218
31 徳島(秋田)	11	11	100%	110	35	75	32%	10	3	0.34%	110
32 徳島(工事)	13	13	100%	115	93	22	81%	9	7	0.35%	115
33 高知	14	6	43%	81	62	19	77%	14	10	0.25%	189
34 福岡	25	23	92%	933	557	376	60%	41	24	2.87%	1,014
35 佐賀	9	9	100%	160	117	43	73%	18	13	0.49%	160
36 長崎	18	18	100%	278	206	72	74%	15	11	0.86%	278
37 熊本	26	24	92%	530	340	190	64%	22	14	1.63%	574
38 大分	14	13	93%	238	176	62	74%	18	14	0.79%	256
39 宮崎	23	23	100%	258	155	103	60%	11	7	0.79%	258
40 沖縄(工事)	18	18	100%	400	137	263	34%	22	8	1.23%	400
41 沖縄(秋田)	14	14	100%	1,349	184	1,165	14%	96	13	4.15%	1,349
合 計	1004	898	89%	32,479	10,291	22,188	32%	36	11	100.00%	36,490

就労人口分布 (現場作業員)



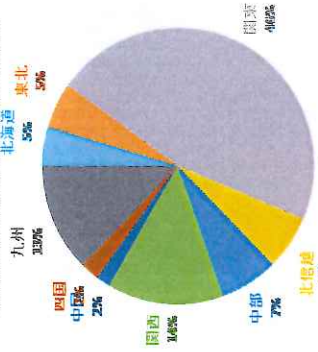
直用比率 (現場作業員)



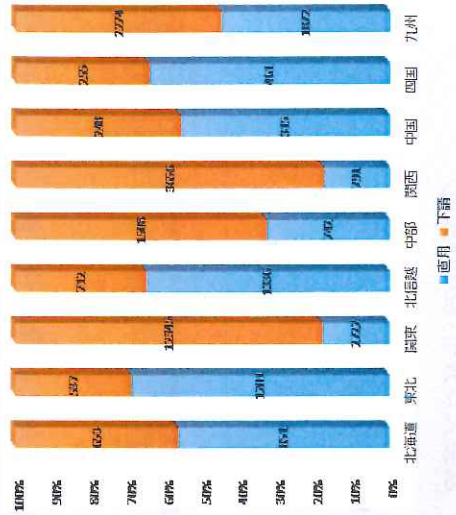
2019年度 就労人口調査（現場作業員）

	事業所数	回答数	回答率	現場就労者数合計	現場就労者数(1次)	現場就労者数(2次以降)	雇用比率	1社当り平均人数(1次+2次以降)	1社当り平均人数(1次)	占有比率	推定就労者数	備考
1 北海道	62	57	92%	1,504	851	653	57%	26	15	4.63%	1,636	
2 東北	108	104	96%	1,738	1,201	537	69%	17	12	5.35%	1,805	
3 関東	249	193	78%	15,067	2,722	12,345	18%	78	14	46.39%	19,439	
4 北信越	157	151	96%	2,048	1,336	712	65%	14	9	6.31%	2,129	
5 中部	102	90	88%	2,250	742	1,508	33%	25	8	6.93%	2,550	
6 関西	78	69	88%	4,447	791	3,656	18%	64	11	13.69%	5,027	
7 中国	31	30	97%	563	315	248	56%	19	11	1.73%	582	
8 四国	70	62	89%	716	461	255	64%	12	7	2.20%	808	
9 九州	147	142	97%	4,146	1,872	2,274	45%	29	13	12.77%	4,292	
合 計	1,004	898	89%	32,479	10,291	22,188	32%	36	11	100.00%	38,268	

就労人口分布(現場作業員)



直用比率(現場作業員)



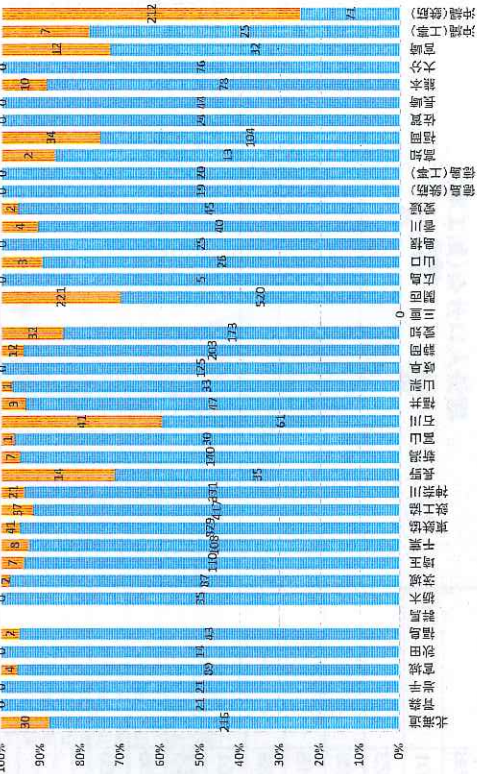
2019年度 就労人口調査（加工場）

	事業所数	回答数	回答率	加工場就労者数合計	加工場就労者数(1次)	加工場就労者数(2次以降)	雇用比率	1社当り平均人数(1次+2次以降)	1社当り平均人数(1次)	占有比率	推定就労者数
1 北海道	62	57	92%	246	216	30	88%	4	4	4.82%	268
2 青森	19	18	95%	21	21	0	100%	1	1	0.41%	22
3 岩手	21	21	100%	21	21	0	100%	1	1	0.41%	21
4 宮城	18	18	100%	93	89	4	96%	5	5	1.82%	93
5 秋田	19	19	100%	14	14	0	100%	1	1	0.27%	14
6 福島	31	28	90%	45	43	2	96%	2	2	0.88%	50
7 群馬	24	24	100%	0	0	0	0%	0	0	0.00%	0
8 栃木	19	12	63%	35	35	0	100%	3	3	0.69%	55
9 茨城	32	29	91%	89	87	2	98%	3	3	1.74%	98
10 埼玉	17	13	76%	117	110	7	94%	9	8	2.29%	153
11 千葉	13	11	85%	116	108	8	93%	11	10	2.27%	137
12 東京	49	49	100%	870	829	41	95%	18	17	17.04%	870
13 神奈川	61	46	76%	454	417	37	92%	10	9	8.89%	602
14 新潟	34	33	97%	352	331	21	94%	11	10	6.90%	363
15 長野	20	14	70%	49	35	14	71%	4	4	0.96%	70
16 新潟	40	40	100%	147	140	7	95%	4	4	2.88%	147
17 富山	39	39	100%	31	30	1	97%	1	1	0.61%	31
18 石川	27	27	100%	102	61	41	60%	4	2	2.00%	102
19 福井	19	19	100%	50	47	3	94%	3	2	0.98%	50
20 山梨	12	12	100%	34	33	1	97%	3	3	0.67%	34
21 岐阜	17	17	100%	125	125	0	100%	7	7	2.45%	125
22 静岡	40	40	100%	215	203	12	94%	5	5	4.21%	215
23 愛知	36	28	78%	205	173	32	84%	7	6	4.02%	264
24 三重	9	5	56%	0	0	0	0%	0	0	0.00%	0
25 関西	78	69	88%	741	520	221	70%	11	8	14.52%	838
26 兵庫	11	11	100%	5	5	0	100%	0	0	0.10%	5
27 山口	11	10	91%	29	26	3	90%	3	3	0.57%	32
28 徳島	9	9	100%	25	25	0	100%	3	3	0.49%	25
29 香川	12	12	100%	44	40	4	91%	4	3	0.86%	44
30 愛媛	20	20	100%	47	45	2	96%	2	2	0.92%	47
31 徳島(鉄筋)	11	11	100%	19	19	0	100%	2	2	0.37%	19
32 徳島(工事)	13	13	100%	19	19	0	100%	2	2	0.39%	20
33 高知	14	6	43%	15	13	2	87%	3	2	0.29%	35
34 福岡	25	23	92%	138	104	34	75%	6	5	2.70%	150
35 佐賀	9	9	100%	24	24	0	100%	3	3	0.47%	24
36 長崎	18	18	100%	44	44	0	100%	2	2	0.86%	44
37 熊本	26	24	92%	88	78	10	89%	4	3	1.72%	95
38 大分	14	13	93%	76	76	0	100%	6	6	1.49%	82
39 宮崎	23	23	100%	44	32	12	73%	2	1	0.86%	44
40 沖縄(工事)	18	18	100%	32	25	7	78%	2	1	0.63%	32
41 沖縄(鉄筋)	14	14	100%	283	71	212	25%	20	5	5.54%	283
合 計	1,004	898	89%	5,105	4,335	770	85%	6	5	100.00%	5,708

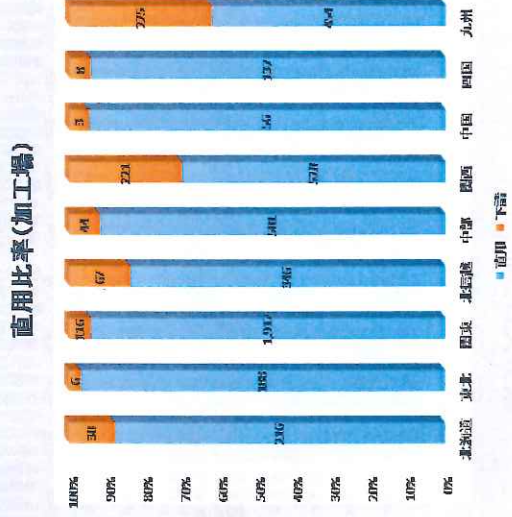
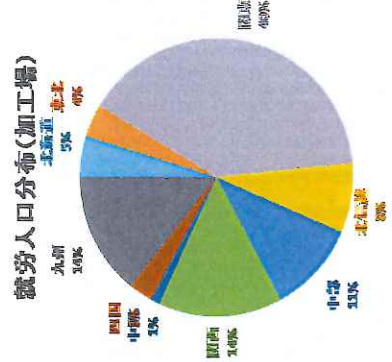
就労人口分布



直用比率(加工場)



2019年度 就労人口調査（加工場）

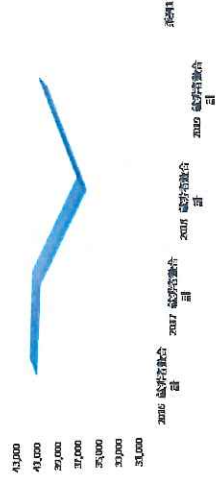


	事業 所数	回答 数	回答率	加工課就 労者数合 計	加工課就 労者数 (1次)	加工課就 労者数 (2次以 降)	雇用比率	1社当り 平均人数 (1次十 2次以 降)	1社当り 平均人数 (1次)	占有比率	推定就労 者数	備考
1 北海道	62	57	92%	246	216	30	88%	4	4	4.82%	268	
2 東北	108	104	96%	194	188	6	97%	2	2	3.80%	201	
3 関東	249	193	78%	2,033	1,917	116	94%	11	10	39.82%	2,623	
4 北信越	157	151	96%	413	346	67	84%	3	2	8.09%	429	
5 中部	102	90	88%	545	501	44	92%	6	6	10.68%	618	
6 関西	78	69	88%	741	520	221	70%	11	8	14.52%	838	
7 中国	31	30	97%	59	56	3	95%	2	2	1.16%	61	
8 四国	70	62	89%	145	137	8	94%	2	2	2.84%	164	
9 九州	147	142	97%	729	454	275	62%	5	3	14.28%	755	
合 計	1,004	898	89%	5,105	4,335	770	85%	6	5	100.00%	5,956	

就労人口調査比較表2016-2019 (全体)

[illegible]

就男人口推移(全体)



就労人口調査比較表2016-2019（1次会社のみ）

	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数
1 北澤	88%	89%	84%	92%	1,059	718	675	1,146	159.6%	172.1%	172.1%	172.1%	116.7%	14	23	163.6%	22	89.5%	161.5%	22	89.5%	95.5%	156.2%	156.2%
2 神奈川	79%	89%	74%	95%	242	182	70.2%	203	111.6%	123.1%	123.1%	123.1%	92.6%	12	15	123.3%	15	97.3%	128.0%	12	97.3%	83.6%	107.3%	107.3%
3 横浜	95%	90%	90%	100%	299	210	70.2%	287	136.7%	147.1%	147.1%	147.1%	103.3%	12	15	123.3%	15	97.3%	128.0%	12	97.3%	83.6%	107.3%	107.3%
4 東京	100%	100%	96%	100%	561	355	63.3%	559	157.5%	99.6%	99.6%	99.6%	94.3%	19	29	150.3%	29	101.6%	152.7%	29	99.9%	101.5%	152.6%	152.6%
5 神奈川	100%	100%	96%	100%	206	195	94.7%	199	96.9%	91.7%	91.7%	91.7%	101.5%	9	11	126.4%	11	96.3%	118.0%	11	96.3%	97.8%	123.6%	123.6%
6 神奈川	76%	87%	61%	90%	355	209	73.7%	319	117.1%	117.1%	117.1%	117.1%	102.2%	11	16	136.7%	17	103.7%	145.9%	13	80.4%	97.8%	117.2%	117.2%
7 神奈川	79%	100%	0%	0%	338	245	72.5%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10	11	154.3%	11	96.3%	118.0%	11	96.3%	97.8%	123.6%	123.6%
8 神奈川	57%	84%	0%	63%	190	115	60.5%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10	12	154.3%	11	96.3%	118.0%	11	96.3%	97.8%	123.6%	123.6%
9 神奈川	84%	90%	90%	91%	395	241	61.0%	391	162.2%	93.0%	93.0%	93.0%	106.6%	9	15	179.6%	14	92.0%	165.1%	15	100.2%	92.2%	165.6%	165.6%
10 神奈川	89%	33%	50%	76%	533	25	4.7%	235	940.0%	44.1%	44.1%	44.1%	43.0%	15	25	167.4%	26	103.1%	172.6%	15	100.2%	92.2%	165.6%	165.6%
11 神奈川	69%	100%	100%	85%	306	219	71.6%	381	164.8%	118.0%	118.0%	118.0%	128.6%	15	33	132.2%	30	93.1%	172.6%	15	93.1%	93.5%	116.4%	116.4%
12 神奈川	100%	100%	100%	100%	2303	1,028	44.6%	2,140	206.2%	92.9%	92.9%	92.9%	102.0%	18	64	299.4%	41	81.3%	243.5%	35	117.3%	107.1%	228.4%	228.4%
13 神奈川	81%	99%	84%	75%	1,726	789	45.7%	1,603	203.2%	92.9%	92.9%	92.9%	97.2%	19	64	299.4%	41	81.3%	243.5%	35	117.3%	107.1%	228.4%	228.4%
14 神奈川	51%	91%	68%	97%	826	609	73.9%	718	117.9%	87.0%	87.0%	87.0%	102.2%	18	30	162.9%	34	106.3%	162.5%	36	115.9%	123.2%	267.1%	267.1%
15 神奈川	36%	80%	88%	70%	96	111	116.8%	240	216.2%	252.6%	252.6%	252.6%	217.9%	6	13	216.7%	14	106.0%	229.6%	30	92.6%	90.4%	211.6%	211.6%
16 神奈川	100%	93%	85%	100%	774	421	54.4%	562	133.5%	72.6%	72.6%	72.6%	96.3%	12	17	133.6%	16	96.4%	129.6%	15	104.7%	111.1%	240.7%	240.7%
17 神奈川	72%	94%	93%	100%	251	234	93.2%	310	132.5%	123.5%	123.5%	123.5%	124.7%	5	7	139.7%	7	99.1%	138.5%	8	111.3%	110.4%	149.6%	149.6%
18 神奈川	100%	100%	100%	100%	457	288	63.6%	419	145.6%	91.7%	91.7%	91.7%	95.0%	12	15	126.6%	16	104.2%	130.9%	16	103.6%	108.0%	136.6%	136.6%
19 神奈川	100%	100%	100%	100%	169	118	69.9%	185	166.8%	109.9%	109.9%	109.9%	117.8%	8	10	135.5%	10	95.4%	129.3%	10	107.6%	102.6%	139.0%	139.0%
20 神奈川	41%	0%	0%	100%	113	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9	10	135.5%	10	95.4%	129.3%	10	107.6%	102.6%	139.0%	139.0%
21 神奈川	100%	100%	100%	100%	408	277	67.9%	503	181.6%	123.3%	123.3%	123.3%	164.2%	6	14	254.6%	14	96.2%	244.9%	17	123.2%	118.5%	301.8%	301.8%
22 神奈川	100%	90%	99%	100%	506	345	68.2%	632	154.2%	105.1%	105.1%	105.1%	125.5%	12	21	167.4%	22	107.4%	173.7%	23	102.3%	109.9%	183.9%	183.9%
23 神奈川	100%	100%	44%	58%	84	44	68.8%	32	72.7%	50.0%	50.0%	50.0%	68.5%	4	8	187.2%	8	98.6%	184.6%	9	110.0%	108.5%	203.1%	203.1%
24 神奈川	100%	96%	92%	88%	1,899	782	46.9%	1,895	234.7%	109.9%	109.9%	109.9%	100.7%	11	27	244.5%	27	102.1%	249.7%	24	89.0%	90.9%	222.1%	222.1%
25 神奈川	62%	76%	27%	100%	11	53	481.8%	61	77.4%	372.7%	372.7%	372.7%	336.4%	9	12	325.93%	14	111.5%	364.4%	3	24.6%	27.5%	897.0%	897.0%
26 神奈川	50%	90%	64%	91%	76	64	84.2%	169	264.1%	222.4%	222.4%	222.4%	319.7%	9	12	325.93%	14	111.5%	364.4%	3	24.6%	27.5%	897.0%	897.0%
27 神奈川	89%	100%	100%	100%	214	147	68.7%	209	142.2%	97.7%	97.7%	97.7%	92.7%	19	25	131.6%	24	104.5%	124.7%	24	100.7%	95.3%	264.1%	264.1%
28 神奈川	93%	93%	100%	100%	206	133	64.8%	197	148.1%	95.6%	95.6%	95.6%	92.7%	7	18	241.6%	16	93.2%	225.3%	16	97.0%	90.4%	218.5%	218.5%
29 神奈川	100%	100%	96%	100%	238	186	77.7%	273	147.6%	114.7%	114.7%	114.7%	102.1%	8	15	184.5%	14	97.5%	180.5%	12	84.6%	82.7%	182.9%	182.9%
30 神奈川	100%	100%	0%	100%	68	10	15.9%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	102.1%	6	3	50.1%	14	97.5%	180.5%	6	84.6%	82.7%	182.9%	182.9%
31 神奈川	100%	100%	100%	100%	141	81	57.4%	106	129.6%	74.6%	74.6%	74.6%	86.1%	6	8	174.3%	8	92.2%	160.7%	9	123.1%	113.5%	197.8%	197.8%
32 神奈川	93%	89%	43%	43%	180	115	63.9%	101	87.8%	56.1%	56.1%	56.1%	51.7%	10	14	143.0%	17	119.5%	171.0%	16	92.1%	110.1%	157.4%	157.4%
33 神奈川	70%	85%	96%	92%	594	309	52.0%	762	243.4%	126.6%	126.6%	126.6%	136.0%	18	24	133.1%	31	130.1%	173.1%	35	111.3%	144.7%	192.6%	192.6%
34 神奈川	80%	80%	70%	100%	145	95	68.5%	150	157.9%	103.4%	103.4%	103.4%	116.6%	12	19	162.4%	21	113.3%	184.3%	19	87.6%	99.5%	161.5%	161.5%
35 神奈川	100%	72%	100%	100%	304	129	42.4%	227	176.0%	74.7%	74.7%	74.7%	94.1%	10	15	146.6%	13	84.5%	123.0%	16	126.0%	106.5%	155.0%	155.0%
36 神奈川	100%	100%	100%	92%	506	310	61.4%	546	176.1%	108.1%	108.1%	108.1%	97.2%	14	21	149.7%	21	100.9%	160.9%	20	97.4%	98.2%	147.0%	147.0%
37 神奈川	100%	96%	100%	93%	279	169	60.6%	267	162.1%	92.1%	92.1%	92.1%	98.9%	13	22	172.6%	18	84.6%	148.0%	21	116.7%	97.9%	168.9%	168.9%
38 神奈川	100%	96%	100%	100%	221	159	71.9%	223	140.3%	100.9%	100.9%	100.9%	97.7%	8	11	137.0%	10	94.1%	129.9%	9	92.6%	87.2%	119.4%	119.4%
39 神奈川	100%	0%	100%	100%	122	0	0.0%	30	140.0%	167.4%	167.4%	167.4%	167.4%	7	10	137.0%	3	84.0%	129.9%	3	84.0%	87.2%	119.4%	119.4%
40 神奈川	100%	0%	0%	100%	45	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	167.4%	1	10	137.0%	3	84.0%	129.9%	3	84.0%	87.2%	119.4%	119.4%
41 神奈川	85%	88%	78%	89%	17,197	9,779	56.9%	19,320	166.9%	94.9%	94.9%	94.9%	106.5%	11	21	184.8%	21	99.4%	183.7%	20	96.5%	99.3%	181.6%	181.6%

就労人口推移(1次)



2016 就労人口調査
2017 就労人口調査
2018 就労人口調査
2019 就労人口調査
2020 就労人口調査

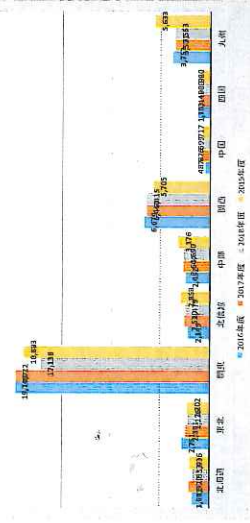
就労人口調査比較表2016-2019（2次以降の会社のみ）

	2016 調査 数	2017 調査 数	2018 調査 数	2019 調査 数	2016 調査 数 計	2017 調査 数 計	2018 調査 数 計	2019 調査 数 計	2016 調査 数 計	2017 調査 数 計	2018 調査 数 計	2019 調査 数 計	2016 調査 数 計	2017 調査 数 計	2018 調査 数 計	2019 調査 数 計	2016 調査 数 計	2017 調査 数 計	2018 調査 数 計	2019 調査 数 計	2016 調査 数 計	2017 調査 数 計	2018 調査 数 計	2019 調査 数 計
1 北海道	85%	89%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
2 青森	79%	89%	74%	95%	0	0	0	0.0%	17	37.4%	76.6%	90.7%	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 岩手	95%	90%	90%	100%	409	49	12.0%	10.8%	37	84.1%	76.6%	90.7%	20	3	12.6%	2	86.6%	1	98.3%	98.3%	98.3%	98.3%	98.3%	98.3%
4 山形	100%	100%	100%	100%	358	324	93.3%	90.0%	295	88.3%	85.0%	73.9%	19	18	93.3%	17	97.0%	30.9%	16	92.6%	92.6%	94.3%	94.3%	94.3%
5 秋田	100%	100%	99%	100%	32	10	31.3%	71.8%	5	21.7%	50.0%	15.6%	2	1	50.0%	1	22.0%	70.9%	0	20.6%	50.0%	16.4%	16.4%	16.4%
6 山形	76%	87%	61%	90%	279	248	103.2%	65.2%	213	117.0%	74.0%	76.3%	13	11	91.3%	10	86.5%	75.9%	8	79.4%	68.7%	69.0%	69.0%	69.0%
7 山形	79%	100%	0%	63%	0	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%	7	7	97.9%	10	86.5%	75.9%	8	79.4%	68.7%	69.0%	69.0%	69.0%
8 山形	84%	90%	90%	91%	329	41	12.6%	106.1%	202	219.0%	90.2%	92.7%	13	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
9 山形	89%	33%	50%	76%	533	25	4.7%	235	940.0%	44.1%	44.1%	44.1%	15	25	167.4%	26	10							
10 山形	89%	33%	50%	76%	533	25	4.7%	235	940.0%	44.1%	44.1%	44.1%	15	25	167.4%	26	10							
11 山形	89%	33%	50%	76%	533	25	4.7%	235	940.0%	44.1%	44.1%	44.1%	15	25	167.4%	26	10							
12 山形	100%	100%	100%	100%	162	182	100.0%	100.0%	182	100.0%	100.0%	100.0%	182	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
13 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
14 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
15 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
16 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
17 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
18 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
19 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
20 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
21 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
22 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
23 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
24 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
25 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
26 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
27 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
28 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
29 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
30 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
31 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
32 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
33 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
34 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
35 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
36 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
37 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
38 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
39 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
40 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
41 山形	81%	90%	84%	92%	602	608	597	84.5%	700	138.1%	90.8%	116.3%	12	18	146.8%	10	82.6%	12	125.6%	99.2%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%
合計	85%	86%	78%	88%	23,666	23,434	90.0%	21,421	91.4%	90.3%	23,777	111.0%	101.5%	100.5%	28	27	96.9%	27	99.3%	95.1%	95.1%	94.0%	94.0%	94.0%

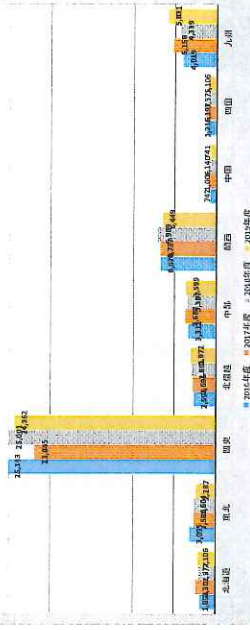
就労人口調査比較表2016-2019 (全体)

[illegible]

就劳人口推移(全体)



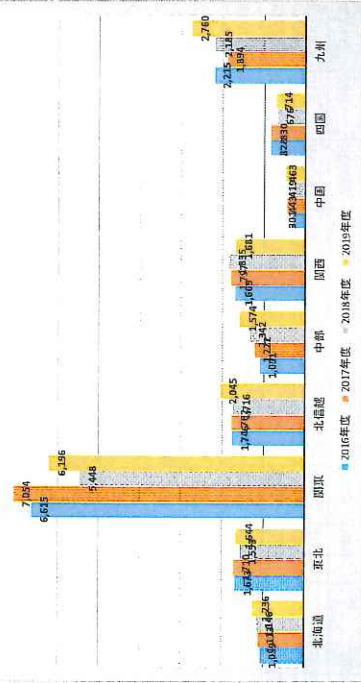
就勞人口推移(推定)



就労人口調査比較表2016-2019（1次会社のみ）

	2016 回答率	2017 回答率	2018 回答率	2019 回答率	2016 総有効回答 数(人)	2017 総有効回答 数(人)	2018 総有効回答 数(人)	2019 総有効回答 数(人)	2016/2019 比率	2017/2019 比率	2018/2019 比率	2019 1世帯の平 均人数	2016/2019 比率	2017/2019 比率	2018 1世帯の平 均人数	2016 1世帯の平 均人数	2017 1世帯の平 均人数	2018 1世帯の平 均人数	2019 1世帯の平 均人数
1 北海道	89%	86%	84%	92%	1,059	1,113	1,146	1,236	108.2%	103.0%	107.9%	111.1%	116.7%	21	23	107.2%	116.7%	111.1%	116.7%
2 東北	89%	93%	82%	96%	1,673	1,710	1,553	1,844	92.8%	90.8%	105.9%	96.1%	98.3%	17	17	97.2%	98.3%	96.1%	98.3%
3 関東	79%	90%	69%	78%	6,615	7,054	5,448	6,196	82.4%	77.2%	113.7%	87.8%	93.7%	34	32	92.8%	93.7%	87.8%	93.7%
4 北信越	83%	94%	86%	96%	1,746	1,762	1,716	2,045	98.3%	97.4%	119.2%	116.1%	117.1%	14	12	87.6%	117.1%	116.1%	117.1%
5 中部	74%	72%	79%	86%	1,091	1,222	1,342	1,574	123.0%	109.8%	117.3%	128.8%	144.3%	14	16	113.5%	144.3%	128.8%	144.3%
6 関西	100%	96%	92%	88%	1,669	1,797	1,835	1,681	109.9%	102.1%	91.6%	93.5%	100.7%	26	27	102.8%	100.7%	93.5%	100.7%
7 中国	66%	87%	61%	97%	301	443	419	463	139.2%	94.6%	110.5%	104.5%	153.8%	14	16	114.5%	153.8%	104.5%	153.8%
8 四国	97%	96%	72%	89%	828	830	676	714	81.6%	81.4%	105.6%	96.0%	86.2%	12	12	103.1%	86.2%	96.0%	86.2%
9 九州	93%	68%	82%	97%	2,215	1,894	2,185	2,760	98.6%	115.4%	126.3%	145.7%	124.6%	16	19	118.2%	124.6%	145.7%	124.6%
合 計	85%	86%	78%	89%	17,197	17,825	16,320	18,313	94.9%	91.6%	112.2%	102.7%	106.5%	20	21	101.4%	106.5%	102.7%	106.5%

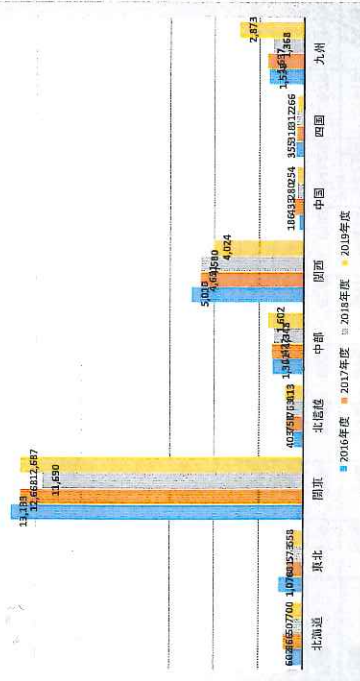
就劳人口推移(1次)



就労人口調査比較表2016-2019（2次以降の会社ののみ）

	2016 回答率	2017 回答率	2018 回答率	2019 回答率	2016 就労者割合 計	2017 就労者割合 計	2018 就労者割合 計	2019 就労者割合 計	2016/2019 比率	2017/2019 比率	2018/2019 比率	2019 1社当り平均 均人数	2016/2019 比率	2017/2019 比率	2018/2019 比率	2019 1社当り平均 均人数
1 北海道	85%	86%	84%	92%	602	865	1,439	700	56.5%	50.7%	80.8%	116.5%	80.8%	138.1%	100.1%	12
2 東北	85%	93%	82%	96%	1,078	681	573	558	84.1%	53.2%	97.4%	51.8%	81.9%	97.4%	100.1%	11
3 関東	79%	90%	69%	76%	13,133	12,668	11,690	12,887	92.3%	89.0%	100.1%	96.8%	100.1%	108.5%	107.3%	66
4 北信越	83%	94%	86%	96%	403	758	1,881	813	100.7%	189.3%	107.3%	201.7%	107.3%	106.8%	112.7%	3
5 中部	74%	72%	79%	88%	1,361	1,422	1,045	1,602	94.8%	98.5%	112.7%	117.7%	98.5%	105.9%	107.3%	18
6 関西	100%	96%	92%	88%	5,010	4,651	4,590	4,024	98.5%	91.4%	87.9%	80.3%	90.7%	150.5%	136.6%	78
7 中国	66%	87%	61%	97%	186	433	232.8	254	64.7%	150.5%	90.7%	136.6%	90.7%	90.7%	136.6%	9
8 四国	97%	96%	72%	89%	355	318	89.6%	266	98.1%	87.9%	83.6%	74.9%	83.6%	175.5%	101.5%	5
9 九州	93%	68%	82%	97%	1,538	1,637	1,368	2,873	83.6%	88.9%	210.0%	186.8%	175.5%	101.5%	101.5%	11
合 計	85%	86%	78%	89%	23,666	23,434	21,421	23,777	91.4%	90.5%	111.0%	100.5%	101.5%	101.5%	101.5%	28

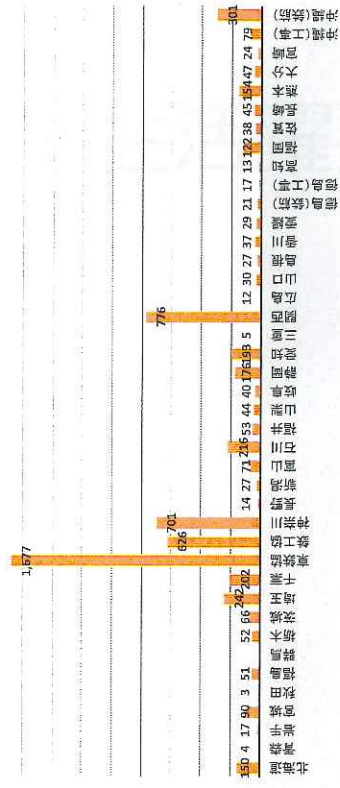
就労人口推移(2次以降)



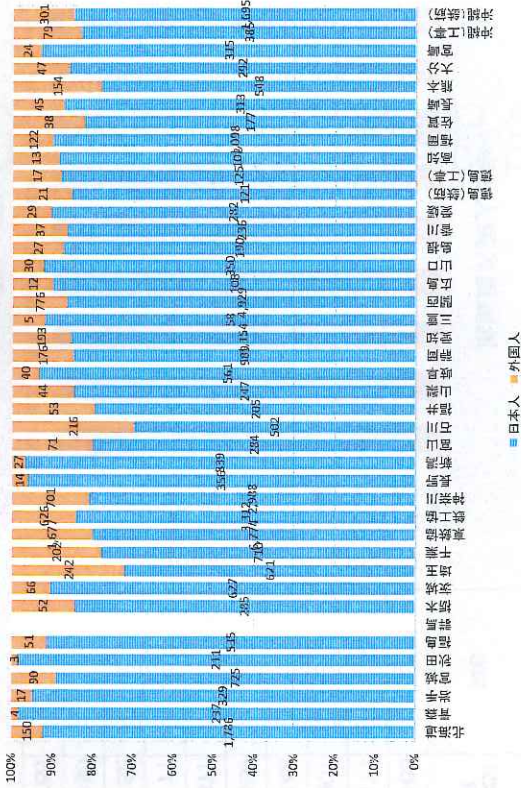
2019年度 外国人就労比率

事業所 数	回答数	回答率	就労者割合 計	日本人	外国人	外国人比率	1社当り平均 外国人人数	外国人占有 比率	推定就労者 数
1 北海道	62	57	92%	1,786	150	8%	3	2.31%	163
2 青森	19	18	95%	241	4	2%	0	0.06%	4
3 岩手	21	21	100%	346	329	17	5%	1	0.26%
4 宮城	18	18	100%	815	725	90	11%	5	1.39%
5 秋田	19	19	100%	214	211	3	1%	0	0.51%
6 福島	31	28	90%	586	535	51	9%	2	0.79%
7 群馬	24	24	100%	0	0	0%	0	0.00%	56
8 栃木	19	12	63%	337	285	52	15%	4	0.80%
9 茨城	32	29	91%	693	627	66	10%	2	1.02%
10 埼玉	17	13	76%	863	621	242	28%	19	3.73%
11 千葉	13	11	85%	912	710	202	22%	18	3.11%
12 東総務	49	49	100%	8,451	6,774	1,677	20%	34	25.83%
13 鉄工協	61	46	75%	3,938	3,312	626	16%	14	9.64%
14 神奈川	34	32	94%	3,689	2,988	701	19%	22	10.80%
15 長野	20	14	70%	370	356	14	4%	1	0.22%
16 新潟	40	40	100%	868	839	27	3%	1	0.42%
17 富山	39	39	100%	355	284	71	20%	2	1.09%
18 石川	27	27	100%	718	502	216	30%	8	3.33%
19 福井	19	19	100%	258	205	53	21%	3	0.82%
20 山梨	12	12	100%	291	247	44	15%	4	0.68%
21 岐阜	17	17	100%	601	561	40	7%	2	0.62%
22 静岡	40	40	100%	1,165	989	176	15%	4	2.71%
23 愛知	36	28	78%	1,347	1,154	193	14%	7	2.97%
24 三重	9	5	56%	63	58	5	8%	1	0.08%
25 関西	78	69	88%	5,705	4,929	776	14%	11	11.95%
26 広島	11	11	100%	120	108	12	10%	1	0.18%
27 山口	11	10	91%	380	350	30	8%	3	0.46%
28 島根	9	9	100%	217	190	27	12%	3	0.42%
29 香川	12	12	100%	273	236	37	14%	3	0.57%
30 愛媛	20	20	100%	311	282	29	9%	1	0.45%
31 徳島(鉄筋)	11	11	100%	142	121	21	15%	2	0.32%
32 徳島(工事)	13	13	100%	142	125	17	12%	1	0.26%
33 高知	14	6	43%	115	102	13	11%	2	0.20%
34 福岡	25	23	92%	1,220	1,098	122	10%	5	1.88%
35 佐賀	9	9	100%	215	177	38	18%	4	0.59%
36 長崎	18	18	100%	358	313	45	13%	3	0.69%
37 熊本	26	24	92%	702	548	154	22%	6	2.37%
38 大分	14	13	93%	339	292	47	14%	4	0.72%
39 宮崎	23	23	100%	339	315	24	7%	1	0.37%
40 沖縄(工事)	18	18	100%	464	385	79	17%	4	1.22%
41 沖縄(鉄筋)	14	14	100%	1,996	1,695	301	15%	22	4.64%
合 計	1004	897	89%	42,093	35,601	6,492	15%	7	100.00%

外国人就労人口分布

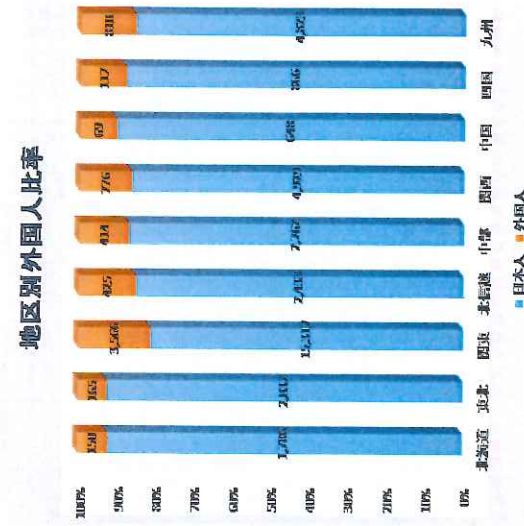


外国人就労人口割合



2019年度 外国人就労比率（全体）

	事業 所数	回答 数	回答率	就労者数 合計	日本人	外国人	外国人比率	1社当り平均 外国人人数	占有比率	推定就労 者数	備考
1 北海道	62	57	92%	1,936	1,786	150	8%	3	2.31%	163	
2 東北	108	104	96%	2,202	2,037	165	7%	2	2.54%	171	
3 関東	249	193	78%	18,883	15,317	3,566	19%	18	54.93%	4,601	
4 北信越	157	151	96%	2,858	2,433	425	15%	3	6.55%	442	
5 中部	102	90	88%	3,176	2,762	414	13%	5	6.38%	469	
6 関西	78	69	88%	5,705	4,929	776	14%	11	11.95%	877	
7 中国	31	30	97%	717	648	69	10%	2	1.06%	71	
8 四国	70	62	89%	983	866	117	12%	2	1.80%	132	
9 九州	147	142	97%	5,633	4,823	810	14%	6	12.48%	839	
合 計	1004	898	89%	42,093	35,601	6,492	15%	7	100.00%	7,765	



女性活躍推進WG 活動報告

宮本 ゆり子

女性技能者インタビュー

- 入社のきっかけは？
 - ・ 体を動かすことが大好きで、出前講座をきっかけに。
 - ・ 友達から一緒にやろうと誘われた。
 - ・ 父親も職人で、小さい頃からカッコ良いと思っていた。
 - ・ やりがいがある仕事をしたかった。

実際に、自分が鉄筋を組んだ建物を見ると、感動や達成感を感じる。
- 会社での立場と、保有資格は？
 - ・ 現場責任者の指示のもとで働いている中堅社員。
 - ・ 気を付けていることは、自分よりも後輩がミスをしないよう指導。
 - ・ どうしたらもっと効率よくできるか常に時短を考えている。
 - ・ 玉掛け・鉄筋2級技能士



女性技能者インタビュー

- 建設業のイメージは？
 - ・ ガラの悪いイメージはあったが、実際はみんな優しく性別関係なく叱ってくれる。
 - ・ どんな仕事か理解なく就職したが、体を動かす仕事だということだけ理解。
 - ・ 結束作業時は腰が痛くなって仕方なかったが、慣れてきたら平気。
- 女性として不向きと思わなかったか？
 - ・ 現場も少しずつ女性が増えてきて、現場内で女性に会うと嬉しい。
 - ・ 現場の環境も昔は汚かったけど、女性専用トイレなど整備されるようになった。
 - ・ 鉄筋工のほかに大工・鳶、現場で女性がバリバリ働いているとカッコよい。
- 現場で大変だったことは？
 - ・ 女性用トイレがない現場があるが、事前の情報が無い時は困る。
 - ・ 更衣室などの環境を整えてくれるとありがたい、車中で着替えたり・・・。



女性技能者インタビュー

- 失敗や工夫したことは？
 - ・ 失敗は数知れないが、後輩が出来て責任感が芽生えた。
 - ・ 一人で担げないときには、相棒探して助けを呼ぶ。
- 女性だからこそ活かせる点は？
 - ・ 男子よりも体が小さいので狭い箇所での作業で活躍。
 - ・ キャラクター的存在で、現場が明るく、綺麗になる。
- こだわりとプライドは？
 - ・ 結束の速さと正確さで勝つ、効率よく安全にできる。
- 今後結婚・育休産休などの制度活用については、どのように思っているか？
 - ・ 制度があるのを知らなかったが、社長から「今後結婚して子供が出来ても、図面や工場加工など、限られた時間の中で働ける仕事はあるよ」と言われ安心した。

女性技能者インタビュー

- 育休産休後は現場に復活したいか？
 - ・ 現場で働きたい。
- この仕事が好きなのか、この会社にいたいのか？
 - ・ 「大平組」この会社です。
- 今後の目標
 - ・ 鉄筋1級技能士試験の最優秀賞を狙いたい。
 - ・ 段取りからすべて指示指導できる人になりたい。
- これから建設業に入職する女性へのメッセージ
 - ・ 自分が職長で同業者や他職から、「えっ！今日この職長女かよ」と舐められたりした。認めてもらうまでに時間はかかるが、仲間はカバーやフォローをしてくれて心配ない。職人の数が少なくなっている中で、私たち女性でも活躍できることを伝えたい。



経営者インタビュー

- 二人は現場から指名があり、男子顔負けに働いている。
- ゴミ拾いなどを率先し後輩もきちんと指導して、現場内が明るくなったと所長の評判が良い。
- 男に敵わない力の差はあるが、担ぎの仕事は全体の4割程、男子よりうまく結束する器用さがある。
- 検査に合格し打設できることを本当に喜んでいる。
- 職長任命は、人を采配する器量があるかを考慮した。
- 退職はほとんどが人間関係で、昔は怒鳴られ殴られ教育されたが、今は叱り方に気を使っている。
- 目配り気配りして「今日はどうだった？」と声掛けし、会話を通して、何を不満がっているのかを察知している。
- 出前講座では、女性が作業しているDVDを鑑賞させて、女性でもできるイメージを与えてる。



技能者モデル写真のご提供について (令和元年9月27日付 発信文書)

- 目的：男子女子の入職促進、一般に対する鉄筋工事業の紹介とイメージアップ
- 収集した写真の利用方法：【写真をいただいて、これから委員会で協議します】
 - ① 全鉄筋ホームページにファッションショー的に掲載する
 - ② ポスターを制作して、高校等へ学校内掲示を依頼する
 - ③ SNS等を利用して、一般に対する紹介とイメージアップを配信する
- 収集する写真の概要：
 - ① 各団体、男性モデル1名以上、女性モデル1名以上の写真を提供
 - ② 写真は無背景、全身、作業する服装（安全帯着用など）
 - ③ デジタルカメラ、スマートフォン等で撮影した映像が鮮明なもの
 - ④ ポーズは「カッコいい！」を表現

© 建設業振興基金 発刊の冊子より引用

令和元年6月7日

平成31年度：委員会構成表

委員会名称	経営委員会 (事業推進委員会)	技術委員会	教育訓練委員会	広報委員会	外国人受入事業委員会	労務委員会	CCUS 企業評価事業 委員会	青年部幹事会	
委員長 (◎) 副委員長 (○) 【 岩田会長 参画 】	◎篠森 義晴 (福岡) ○小寺 洋志裕 (石川)	◎新妻 尚祐 (東鉄協) ○井手口 勉 (佐賀)	◎飯島 勉 (愛知) ○矢島 孝夫 (東鉄協)	◎知念 辰昇 (鉄工協) ○宮本 ゆり子 (山口)	◎武田 美治 (香川) ○小寺 洋志裕 (石川)	◎飛田 良樹 (鉄工協) ○國井 均 (静岡)	◎新妻 尚祐 (東鉄協) ○樋脇 毅 (千葉)	担当理事 熊谷 誠一 ◎小寺 広宜 (北陸) ○辻本 浩二 (関西) ○松本 勝 (中部)	
委員 リーダー (☆)	熊谷 誠一 (北海道) 岩 直樹 (宮城) 知念 辰昇 (鉄工協) 國井 均 (静岡) 宮本 ゆり子 (山口) 吉岡 通伸 (愛媛) 宮村 博良 (福岡) 【社保、就労調査WG】 ☆佐々木 善弘 (福岡) 標準見直しWG ☆森山 直樹 (関西) 大平 智彦 (茨城) 大港 成人 (鉄工協) 女性活躍推進WG ☆宮本 ゆり子 (山口) 木浪 裕子 (北海道) 駒井 真里 (神奈川) 加藤 礼子 (静岡) 安藤 未都 (関西)	國井 角成 (北海道) 宮田 尚明 (東鉄協) 安藤 理人 (東鉄協) 鈴木 弘 (鉄工協) 高橋 英雄 (神奈川) 神田 幸夫 (新潟) 山本 俊輔 (愛知) 恵谷 信 (関西) 【書籍改定WG】 ☆新妻 尚祐 (東鉄協) 宮田 尚明 (東鉄協) 安藤 理人 (東鉄協) 鈴木 弘 (鉄工協) 高橋 英雄 (神奈川) (登録鉄筋基礎技能者講習 修了問題検討部会(WG)) ☆森山 直樹 (関西) 國井 均 (静岡) 恵谷 信 (関西)	田原 聡 (北海道) 原 敏紀 (宮城) 池田 芳輝 (千葉) 藤田 清志 (鉄工協) 瀬戸 和宏 (石川) 國井 均 (静岡) 松本 収 (愛知) 森山 直樹 (関西) 武田 伊知朗 (香川) 柳井 一義 (福岡) 【運輸技能者講習委員会】 ☆飯島 勉 (愛知) 林 静雄 (東工大) 草地 裕一(大成建設) 矢島 孝夫 (東鉄協) 村井 隆嗣 (事務局)	木浪 裕子 (北海道) 工藤 桂一 (神奈川) 田浦 真一 (関西) 兼澤 伸至 (広島) 松本 勝 (静岡) 【月刊誌発行WG】 ☆工藤 桂一 (神奈川) 田浦 真一 (関西) 兼澤 伸至 (広島) 松本 勝 (静岡)	丹波 勝行 (北海道) 矢野 目 和則 (福島) 野仲 啓明 (東鉄協) 飛田 良樹 (鉄工協) 山本 俊輔 (愛知) 叶 順哉 (関西) 【特定技能WG】 ☆新妻 尚祐 (東鉄協) ★樋脇 毅 (千葉) 野仲 啓明 (東鉄協) 安藤 理人 (東鉄協) 飛田 良樹 (鉄工協) 山本 俊輔 (愛知)	塗木 賢治 (東鉄協) 清水 敬央 (愛知) 田村 晃一 (関西) 古澤 英樹 (福岡)	熊谷 誠一 (北海道) 田村 一夫 (岩手) 池田 慎二 (千葉) 神田 幸夫 (新潟) 佐藤 和人 (愛知) 田中 毅 (関西) 伊藤 敏安 (大分) 【第三者委員会】 準備委員会 ☆篠森 義晴 (福岡) 熊谷 誠一 (北海道) 清水 敬央 (愛知)		・青年部会議の実施 ・全国連絡会議 ・全国部会長会議 ・幹事会 ・協会の長期的展望、 企画立案、提言 ・各委員会活動に対す る協力、参画 ・経営委員会依頼の 情報収集、調査等へ 協力、実施
主な業務	・事業計画等の策定 および推進 ・定例会等の計画 ・福利厚生制度 ・関連諸官庁・他団体 協力、渉外窓口 ・雇用改善事業 ・社保加入状況調査 ・就労人口調査 ・標準見直し活用推進 ・女性活躍推進	・技術関連全般 ・全国技能大会主管 ・技術関連図書等の 発行、改訂作業 ・関係団体委員会等へ の参加 ・(総手協会窓口)	・教育関連全般 ・基礎技能者講習主管 ・技能開発計画の策定 ・各種講習会の実施 ・関係団体委員会等へ の参加	・内外情報発信全般 ・季刊誌の発行 ・協会ホームページの 企画、掲載 ・社会広報活動関連、 パンフレット等の 企画、発行 ・報道関係、出版社等 の一般窓口	・実習生受入事業主管 ・外国人建設就労事 業主管 ・同事業に係る諸課題 への対応 ・特定技能試験問題の 作成、試験官の派遣 ・海外送り出し機関の 検証等	・若年労働者確保・育成 ・下請組織確立、運営 ・会員企業間の技能工 の技術研鑽システム運 営	・CCUS の技能工評価 ・企業評価システム運 営 ・(専門工事業者の 見える化システム)		

* 各リーダーを除き、地方整備局単位順に記載



第3回全国鉄筋技能大会

ETSU-1 GRAND PRIX

開催日：2019年11月24日(日)

開催場所：富士教育訓練センター

開催時間：9:00~15:30